

創立20周年 記念誌



平成 27 年 12 月

東京八王子プロバスクラブ

プロバス賛歌

作詞 大野聖二
補作 石井 亨
作曲 石井 亨

mp

しあ わせをもちめ てな が い み ち き あ る
す わせの かもかちげ て あ の り ー く い た に が え が
き つ づ け た り そ れ ぞ れ ん が あ か る
おい は お な し じ み ら い の み だ ち ち や た ま か
いなと あちしい たきや にとの ゆけふ めいれ ーあ をけう いんま だち ききに ささき
ああ こわバ ーの ス とたの てちは をにた いい ままま つつか 一たか なえげ ごよよ うう へい いく う

プロバス賛歌

一、 幸せを求めて 長い道を

歩き続けた それぞれが

明るい あしたに 夢をいただき

さあ 心と手を 今 つなごう

二、 平和をかけて この国に

笑顔と緑 はぐくんた

豊かな 知識と 経験を

さあ 若者たちに 今 伝えよう

三、 いくすじの道を 歩いたが

願いは同じ 未来の道

山と平野の ふれあう町に

さあ プロバスの旗 今 かけよう

目次 (Index)

挨拶	1
祝辞	3
東京八王子プロバスクラブ会長 永井昌平	
同・20周年記念事業実行委員長 杉山友一	
八王子市長 石森孝志	
東京八王子南ロータリークラブ会長 山口進一	
全日本プロバス協議会会長 中村 實	
I. 東京八王子プロバスクラブの活動状況	6
1. 20年間の歩みと最近5年間の活動状況	
① プロバスクラブ設立の経緯とその後の歩み	
② プロバスクラブの会務の運営	
③ 会員動向	
④ 最近5年間の活動状況	
[別表] 歴代会長とそのスローガン	
[別表] 歴代役員一覧表	
2. 会員相互の親睦	15
① 例会の開催	
② 野外研修	
③ 卓話	
④ プロバスだよりの発行	
⑤ 同好会活動	
3. 地域奉仕活動	31
① 生涯学習サロン	
② 八王子「宇宙の学校」の設立と発展	
③ シニアダンティーズの活動	
4. 地域および全国プロバスクラブとの交流・協調	44
① 「八王子いちょう祭り」への協力	
② 「八王子市民健康フェスタ」への参加	
③ 全日本プロバスクラブ協議会・そのメンバーとの協調	
II. 20周年記念会員寄稿文集	51
III. 会員紹介	83
IV. 20周年記念事業特集	119
IV. 20周年記念事業フォトアルバム	126
V. 会則・運営細則・入退会等手続きに関する細則(シンボルマーク説明付)	132
VI. 20周年記念事業実行委員名簿	135
VII. 編集後記	

挨拶

創立 20 周年に当たって



東京八王子プロバスケットボールクラブ
会長 永井 昌平

東京八王子プロバスケットボールクラブは、東京八王子南ロータリークラブをスポンサーとして1995年10月に設立されて以来20年目を迎えることができました。プロバスケットボールクラブの発祥はイングランドと云われ、その設立の意義は第一線を退いた方達の親睦の場であり、豊富な経験と知識を利用した地域社会への貢献にあります。この主旨にそって、全世界では4000近いクラブがあると云われています。我々のクラブも、プロバスケットボールクラブ発祥の主旨にそって活動を続けてきました。

親睦という意味では月1回の例会に加え、10に及ぶ同好会活動で交流をはかっています。また、地域への貢献では、クラブ会員が講師となる「生涯学習サロン」は設立以来の事業として20年継続しています。さらに、「八王子宇宙の学校」も5周年を迎えることになりました。こうした活動を継続するために、チャレンジ精神を忘れないため、研修も怠らないようにしています。また、クラブの活動、会員個人の活動をタイムリーに情報発信して、皆様の理解を得る努力もしています。こうした活動を通して会員も増加し、当初33名で始まったクラブも70名近くに及ぶ大世帯に発展しました。これは国内で1、2を争う規模です。

このように20年間継続して発展できたのも、諸先輩方の努力と地域の皆様のご支援によるものと感謝する次第です。ただ、20年も経ちますと高齢化が進み、活動も現状維持がやっとという状況になってきます。現状維持とは緩やかな後退を意味するそうですが、緩やかでもいいから前進し続けて25年、30年の年輪を刻めるよう頑張りたいと考えています。そのためにも、皆様方の今まで以上のご支援、ご指導をお願いする次第です。

創立 20 周年を迎えて



東京八王子プロバスクラブ
20周年記念事業実行委員会
委員長 杉山 友一

クラブソングに、「山と平野のふれあう町に さあ プロバスの旗 今 かけよう」（大野初代会長作詞）と謳い上げてスタートを切ったクラブが、早くも創立20周年を迎えました。八王子南ロータリークラブをスポンサーとして設立された当クラブは、設立当初から親睦活動に励む一方で、地域の文化レベルを高める諸活動に注力して参りました。設立時33名でスタートしたクラブは、その後この20年間には延べ140人のシニアたちが、英知を傾け、時を刻み、折々にまた個性豊かな彩りを添えながら、着実に栄養分を蓄えて参りました。クラブが常に生き生きとして明るく楽しく有意義であるためには、毎年度の役員の皆様のクラブ奉仕への情熱と、それを好意と友情で支える会員の心意気が必須でありますがお陰さまでクラブは今、その好循環の中で20周年を迎えております。今日までその折々にお力をお貸しくございました内外の多くの皆様方に改めて感謝と敬意を表したいと思ひます。

さて、私どもはこの20年の節目に、次のような記念事業を実施致しました。

- 1：近年国民的人気の高い「海上自衛隊東京音楽隊八王子公演」に際しプロバスチャリティ鑑賞会を催し、多摩市域に避難在住している福島原発事故被災者の皆さんを初めとして、日頃こうした機会に恵まれない市民の方々などを多数ご招待いたしました。併せて、原発事故被災地のいわき市豊間中学校にプロバス中学生文庫を贈呈いたしました。
- 2：クラブ事業である八王子「宇宙の学校」5周年キャンペーンとして、JR八王子駅南口総合事務所（八王子市役所）の多目的スペースをお借りし、JAXAの後援を得て、「輝く宇宙八王子展」を10月18日から2週間開催いたしました。
- 3：京王プラザホテル八王子を会場として、クラブ史20年の来し方を振り返り、次なる25周年への想いを託して、記念講演会・式典・レセプションを開催いたしました。
- 4：全ての記念事業の終了を待って、創立20周年記念誌を発行致します。

結びに、記念事業に際しご支援くださいました各方面関係者の皆さま方、事業の成功を導いてくださった会員、同志の皆さま方、更に、各事業にご参加いただいた遠来のプロビアン、そして市民の皆さま方に、実行委員会を代表して、衷心より厚く御礼と感謝を申し上げます。誠に有難うございました。

祝 辞

創立 20 周年を祝して



八王子市長 石森 孝志

東京八王子プロバスクラブ創立20周年誠におめでとうございます。また、永井会長はじめ役員の皆様のご尽力により、ここに立派な記念誌が発刊されますことを、心からお祝い申し上げます。

東京八王子プロバスクラブは、平成7年10月、豊かな人生経験を活かして地域社会に奉仕することを目的に創立されて以来、めでたく節目の20周年を迎えられました。歴代の会長をはじめ、関係各位の皆様におかれましては、本市の生涯学習施策の推進に多大なるご貢献をいただき、あらためて敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

会員の皆様におかれましては、それぞれの分野におけるプロフェッショナルとして、自ら学び続けるとともに、豊富な知識と経験を活かし、その技能をより多くの方に広めてこられました。特に、平成23年度に開校し、今年度5年目を迎えました「宇宙の学校」につきましては、多大なるご協力いただき、回を重ねるごとに受講希望者が増加し、市を代表する事業へと発展しています。次世代を担う子どもたちにとって、宇宙を素材に楽しみながら学習することで、理科に対する興味をもつきっかけになっているものと考えております。

また、設立当初より毎年開催されています、「生涯学習サロン」につきましては、経済、歴史、文化等、会員の専門知識による幅広い講座を開講され、市民の学びを深めるとともに、交流・親睦を図る場としても、貴重な役割を担っていただいています。貴クラブの取組は、一人一人の個人的な学びから発展し、その学んだ成果が地域で活かされ、新たな交流やつながりが生まれるという、本市が目指す“市民との協働型の生涯学習”の姿そのものがあります。

本市におきましても、2年後の平成29年に市制100周年を迎えます。キャッチフレーズは「百年の彩りを 次の100年の輝きへ」。先人たちが築き上げてきたこのまちの魅力を再認識し、次世代に継承していくことで、皆様とともに新たな100年に向け、「魅力あふれる八王子」の創造に全力で取り組んでまいり所存であります。永井会長をはじめ、皆様方におかれましても、引き続き、本市の文化振興・生涯学習の充実へお力添えをいただくようお願い申し上げます。

結びに、創立20周年を契機とした東京八王子プロバスクラブのさらなるご発展と、皆様の御健勝を心から祈念申しあげ、お祝いの言葉といたします。

東京八王子プロバスクラブ 20周年によせて



東京八王子南ロータリークラブ
会長 山口 進一

東京八王子プロバスクラブ会員の皆様、クラブ創立20周年、誠におめでとうございます。5年前の創立15周年時、杉山会長が「私たちはクラブ創立の原点を忘れず、併せてまた、常に時代の風を感じながら、次の5年に向かって進んでまいります」と述べられました。そして、この5年の間に「八王子 宇宙の学校」という時代の風を背に受けた素晴らしい事業を立ち上げられました。20周年の今年度は「八王子 宇宙の学校」開校5周年キャンペーンとしまして「輝く宇宙 八王子展」を主催されます。八王子プロバスクラブならではの八王子で実践する地域奉仕事業であり、子供たちに宇宙や科学への好奇心を育む素晴らしい青少年奉仕事業でもあります。

「生涯学習サロン」は八王子プロバスクラブの代名詞になっています。「学ぼう 豊かな社会経験を、語ろう それぞれのライフワークを、広げよう 知り合いを」をスローガンに、親しみやすく味わい深い講座を20年も継続されています。内容も、歴史、社会問題、趣味、世界、科学、医療、経済、法律等々私たちが関係するあらゆる分野にわたっています。これも第一線でご活躍された専門的職業人と実業人集団で会員メンバーが構成されている貴クラブだからこそできる事業です。まさに人材の宝庫としか形容できません。会員の皆様がその貴重な知識・経験を惜しげもなく地域に還元しています。もしロータリークラブの事業でしたら間違いなくR I (国際ロータリー)会長賞を受賞している事業だと思います。

私ども東京八王子南ロータリークラブが貴クラブのスポンサークラブであるということは、私たちの誇りとなっています。皆様方の楽しみながらの真摯なご努力に、敬意と尊敬を感じざるを得ません。私たちは皆様方から多大な感動をいただき、また強い刺激もいただいております。私たちも、これまで以上にクラブライフを充実させたい、そしてこれまで以上に地域や社会の役に立ちたい、そう強く思わされてしまいます。互いに地元のエルシィを例会場にしています。兄弟であり掛け替えのない隣人です。私たちも八王子プロバスクラブの皆様から、南もよくやっているとだけ言っていただけますように真摯に努力をしてまいります。地域のために互いに手を携えて、次の5年に向かって進みましょう。

結びとなりますが、東京八王子プロバスクラブの益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍をご祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

八王子出身の横川うめ子にこと寄せて



全日本プロバス協議会
会長 中村 實

八王子プロバスクラブ創立20周年まことにおめでとうございます。心からお慶び申し上げます。お言葉に甘え一言お祝いのご挨拶を申し上げます。

かつては「十年一昔」と申しましたが、地球の回転速度が急に早くなったわけでもないのに昨今は月日の経つのがとても早く感じられます。これは私一人の感想でしょうか。

貴クラブ設立の頃の世相と現在の社会の動きを比較すればご納得が行くと思います。

ところでお祝いの言葉を述べるにあたり、安倍首相の政策スローガンの1つ「女性に一層の輝きを」に関連して、私は錦地八王子でかつて八面六臂の活躍を遂げた一人の女性を思い浮かべております。

嘉永6(1853)年、武蔵国多摩郡に生まれた横川うめ子で、大正13年に没し、八王子市横川町の横川家墓地に眠る女性教育者のことでございます。

彼女は若くして猛勉強に励み、様々な資格や教養を身につけ、村の名主を務め、私財を投じて「多摩学舎」を開校して村の子どもの教育に注力した父横川高德の跡を継いで私立八王子女学校、幼稚園を設立しました。

しかし1904年に八王子に東京府立第四高等女学校（現都立南多摩高校）の誘致が決まると、第13回卒業生を送ったのち、一切を東京府に寄付し、在学中の生徒も全て新設校に託して15年にわたる八王子女学校の幕を自らの手で閉じました。

「一国の基礎は教育にあり（中略）女子教育は教育の母たるべし」の思想を貫いた彼女に私は深甚の敬意を表しております。

女子教育に生涯をかけ、偉業を成し遂げた彼女は八王子婦人会（1919年設立）の初代会長に推され以来地域の女性の啓蒙に努めました。

さて顧みますと、明治4（1871）年、廃藩置県の折、三多摩地方（北、西、南多摩郡）は神奈川県に編入されました。したがって貴会と私の出身母体横浜プロバス倶楽部とは同じ流れの中にあると申しても差し支えないでしょう。しかしその後間もなく明治22（1889）年、甲武鉄道（現JR中央本線）が新宿と八王子の間に開業したことを契機に三多摩地方は東京府に移管したため明治26年現在のようなかたちになりました。

一方、埼玉、山梨、長野諸県産の生糸や絹布などを日本最大の貿易港横浜へ運ぶため、横浜の生糸商人原三郎らが請願していた八王子横浜間の鉄道が開通した明治41（1908）年以降錦地と横浜とは大変緊密な関係に結ばれております。

行政上は東京府と神奈川県とに分断された両地ですが、経済と住民の心とは今なおきちんと結ばれております。

貴会の皆々様の地域貢献の模様はよく存じ上げておりますが、設立20周年に当たり一層八王子地域発展の一翼を担われますことを祈念いたしましてご挨拶に代えさせていただきます。

I 東京八王子プロバスクラブの活動状況

1. 20年間の歩みと最近5年間の活動状況

① プロバスクラブ設立の経緯とその後の歩み

当クラブは、東京八王子南ロータリークラブの創立記念事業の一つとして、平成7年10月18日に設立された。チャーター会員33名。わが国では26番目、東京では2番目のクラブとして誕生した。

設立の趣旨は、「日本社会は人生80年時代に入り、21世紀には世界にも類を見ない長寿社会を迎えることになる。高齢者がいきいきと活動できる場を創る必要がある。八王子地区にも、第一線を退いたとはいえ、なお若さを失わず、活力、気力に溢れた方々が多数存在している。そうした方々に呼びかけて、プロバスクラブを結成し、その貴重なキャリアや人生経験を、お互いの親睦や地域社会に生かしていこう」ということにあった。

設立にあたっては、南ロータリークラブ内に設立準備会が設けられ、会則や運営細則、クラブの旗とバッチのデザイン、プロバス讃歌の歌詞と作曲など、幅広い諸準備が急ピッチで進められた。ちなみに、作詞は初代会長の大野聖二氏、作曲は多くの学校校歌作曲の実績のある国立音大 石井亨教授である。初代会長には、設立準備会会長の大野聖二氏が就任した。

発足早々から、第一線を退いた実業人としての専門知識や人生経験を社会に還元する、地域社会のお役に立てたいとの考え方から、「生涯学習サロン」の開催が検討され、平成9年2月に発足した(5月まで開催 一般参加者は58名)。以降、毎年春に開催され、本年(平成27年春)で、第19回を数え、参加者も順次増加してきている。

例会については、第1回が平成7年11月9日に開催され、プロバスだよりは、第1号が同年12月に発行された。

その後、歴代の会長は、それぞれのスローガン(別表①)を掲げ、役員(別表②)を中心に、会員数を増加させつつ、会員相互の親睦をはかるとともに、地域との交流や地域奉仕活動に取り組んだ。平成23年度からは、青少年の科学する心の育成に取り組むこととし、多くの方々、団体の協力を得て、「宇宙の学校」設立の運びとなり、以降年を追う毎に一層活発化し、発展を遂げている。

また、プロバスクラブ男性会員で構成されているコーラスグループ、シニアダンディーズも、地域奉仕活動に深く関わっており、いろいろな会合に招かれて平素の訓練成果を発表している。昨年26年度には、市議会メンバーの揃っている場での演奏の光栄の機会を得た。

設立からの節目である平成17年には創立10周年を迎え、記念行事として陸上自衛

隊東部方面音楽隊によるコンサートを市民会館で開催した。平成 22 年の創立 15 周年には、記念行事として、的川 JAXA 名誉教授による記念講演と視覚障害者音楽家によるコンサートを開催し、多数の市民の方々ほかの参加を得た。

20 周年の本年(平成 27 年)は、記念行事として、8 月に、海上自衛隊音楽隊のコンサートの記念鑑賞会、10 月には輝く宇宙八王子展、記念講演会等が開催された。

② プロバスクラブの会務の運営

(会務運営に関する重要事項の決定)

東京八王子プロバスクラブの運営については、「東京八王子プロバスクラブ会則」および付属細則を定めて、会務運営に関わる重要事項である会員資格、会費、諸会議、役員等の事項を定め、諸活動の柱としている。

会務運営の最重要事項は、定時ないし臨時に開催される「総会」において決議決定されたうえ、役員および会員によって実施、実行されている。総会決議事項の内容は、たとえば、新年度の業務計画と前年度の執行状況報告、新年度の予算と前年度決算、理事等役員の選任、会則の改定などである。

(理事と理事会)

当クラブの役員は、総会で理事 11 名、会計監査 2 名を選任し、理事の互選により、会長、副会長、幹事を選出する。

毎月 1 回開催する理事会においては、総会提出議案を決定するほか、会務の常務事項を執行することとしている。

(委員会)

当プロバスクラブには会務の円滑な運営をはかるために、例会委員会、情報委員会、会員委員会、研修委員会、地域奉仕委員会と八王子「宇宙の会」担当を設置して、総会、理事会の決定に従い、常務事項を遂行している。

また、会員は全員が、これら委員会や担当グループに属することとして、担当する任務の執行にあたっている。

東京八王子プロバスクラブの活動状況については、「最近 5 年間の主な動き」についてまとめて次稿に記載しているが、「会員相互の親睦」「地域奉仕活動」「地域および全国プロバスクラブとの交流」については、項を改め、続く 2 から 4 までに記載し、上記会務運営の基本となる「会則」については、巻尾の V に掲載している。

③ 会員動向

(1) 会員状況

平成年度	期 間	入会数	退会数	会員数 (期末)	男性	女性	平均年齢
設立時				33			
10年経過時				63			
22	22. 7. 1～23. 6. 30	6	3	70	56	14	73. 6
23	23. 7. 1～24. 6. 30	2	1	71	57	14	74. 6
24	24. 7. 1～25. 6. 30	3	2	72	57	15	75. 7
25	25. 7. 1～26. 6. 30	2	4	70	55	15	76. 2
26	26. 7. 1～27. 6. 30	1	4	67	52	15	76. 7
27	27. 7. 1～27. 9. 30	2	0	69	54	15	—

(2) 入会者

平成年度	
22	122 野口浩平、123 寺田昌章、124 河合和郎、125 根本洋子、 126 根本照代、127 内山雅之
23	128 岡部 洽、129 鈴木弘昭
24	130 高橋敏夫、131 山口三郎、132 伊藤涼子
25	133 磯 洋一、134 鈴木はるみ
26	135 山崎光子
27	136 持田律三、137 有田進治

(3) 退会者 () 内は物故会員

平成年度	
22	120 三田孝子、105 高瀬謙輔、108 石井廣治
23	115 宮田正美、
24	22 近藤泰雲(4 石井充)
25	132 伊藤涼子、47 山下安雄、72 矢崎安弘、85 阿部和也
26	35 中野義光、94 市川昌平、116 田中美代子、129 鈴木弘昭
27	

④ 最近5年間の活動状況

(1) 平成22年度(22.7.1~23.6.30)

- ① 7月8日、臨時総会 2009-2010年度事業報告・決算報告、
2010-2011年度事業計画・予算の件
- ② 出前講師リスト作成
- ③ 9月12日~14日全日本プロバス協議会(旭川総会)参加 16名
- ④ 男声合唱団シニア・ダンディーズ発足(はにかみおじさん合唱団を発展的解消)
- ⑤ 10月17日、創立15周年記念事業
 - ・ 青少年育成事業(オリンパスホール)
記念講演会「宇宙と友達になろう」、記念音楽会「君に届けたい愛のコンサート」
 - ・ 記念式典(八王子エルシィ)
永年在籍者(10年以上)顕彰 23名
アトラクション「楽しいミュージカルの世界へ」
 - ・ 東京日野プロバスクラブ創立支援
 - ・ クラブ広報パンフレット作成
 - ・ 15周年記念誌の発行
- ⑥ 10月5日、日野プロバスクラブ創立記念式典出席
- ⑦ 廣瀬智子会員、10月5日長年の人権擁護委員としての活動に対し法務大臣賞受賞
- ⑧ 子どもたちの理系教育のサポートとして「宇宙の学校」開設に向け準備検討会開始
- ⑨ 第183回例会の特別講話に、NPO法人子ども・宇宙・未来の会(KUMA)会長、
的川泰宣先生をお招きし、「KU-MA(宇宙の学校)が目指すもの」を講演頂いた。
- ⑩ 4月23日、八王子南ロータリークラブ創立25周年記念式典に参加予定していたが、
3月11日、東日本大震災発生にかんがみ、中止
- ⑪ 4月20日、東日本大震災義援金を八王子市に寄託
- ⑫ 5月12日、臨時総会 2011-2012役員人事の件
- ⑬ 5月「東京八王子プロバスクラブ生涯学習サロン有志」として義援金を愛の事業団
に寄託
- ⑭ 6月9日、定期総会 2011-2012年度事業報告の件
- ⑮ 6月23日、八王子「宇宙の学校」実行委員会設立総会開催。10月30日からスタート
- ⑯ 12月9日、臨時総会 クラブ創立15周年記念事業決算報告、
第15回生涯学習サロン予算の件

(2) 平成23年度(23.7.1~24.6.30)

- ① 7月14日、臨時総会 2010-2011年度事業報告・決算報告、
2011-2012年度事業計画・予算の件
- ② 有泉裕子会員、生活安全功労者(八王子交通安全指導員)として八王子市より表彰される。

- ③ 10月30日、八王子「宇宙の学校」開校式（八王子サイエンスドーム）
八王子市長、教育長ご出席の下、開校宣言が行われる、JAXA曾根理嗣先生の講演
11月13日、第1回スクーリング、12月11日、第2回スクーリング、1月15日
第3回スクーリング
- ④ 第195回例会特別講話に、都立富士森高等学校主幹教諭、平沢正規氏をお招きし、
「宇宙と大地の謎を追って」と題し講演頂いた。
- ⑤ 12月8日、臨時総会 第16回生涯学習サロン特別会計予算書の件
- ⑥ 2月13日、シニア・ダンディーズ、シルバービレッジ日野にて訪問演奏、
ソプラノ歌手田中三佐代さん出演
- ⑦ 廣瀬智子会員、人権擁護委員としての活動に対し、法務大臣、八王子市から
表彰される。
- ⑧ 5月10日、臨時総会 2012-2013年度役員人事の件
- ⑨ 5月10日、八王子「宇宙の学校」事業報告並びに収支報告実施
- ⑩ 6月14日、定期総会 2011-2012年度事業報告の件

(3) 平成24年度(24.7.1～25.6.30)

- ① 7月12日、臨時総会 2011-2012年度事業報告・決算報告、
2012-2013年度事業計画・予算の件
- ② ホームページのリニューアル検討
- ③ 7月24日、多摩・日野・八王子の3プロバスクラブ連絡会参加（多摩市関戸公民館）
- ④ 9月26日、シニア・ダンディーズ、シルバービレッジ八王子にて訪問演奏、
ソプラノ歌手田中三佐代さん出演
- ⑤ 八王子「宇宙の学校」10月7日開校式・第1回スクーリング（桑志高等学校）、
10月21日開校式・第1回スクーリング（本部会場）、第2回スクーリング11月11日
（本部会場）、10月28日（桑志会場）、11月25日第3回スクーリング（桑志会場）、
12月15日（本部会場）、12月16日閉校式（桑志会場）、1月27日閉校式・第3回
スクーリング（本部会場）
- ⑥ 10月5日、多摩・日野・八王子の3プロバスクラブ合同懇親会参加
- ⑦ 11月10日、多摩プロバスクラブ10周年記念講演会参加
- ⑧ 11月全日本プロバス神戸総会 参加15名
- ⑨ 12月13日、臨時総会 第17回生涯学習サロン特別会計予算書の件
- ⑩ 2月20日、プロバスクラブ関東中央地区交流会（ホストクラブ多摩プロバスクラブ、
多摩アカデミーヒルズ）、参加14名、懇親会にシニア・ダンディーズ出演
- ⑪ 5月9日、臨時総会 2013-2014年度役員人事の件
- ⑫ 7月11日、臨時総会 2012-2013年度事業報告・決算報告、
2013-2014年度事業計画・予算の件

- ⑬八王子「宇宙の学校」開校式、第1回スクーリング、7月13日(八王子北高校)、7月14日(本部会場)、第2回スクーリング、9月7日(本部)、9月14日(八王子北高校)、第3回スクーリング、10月19日(本部)、10月26日(八王子北高校)、閉校式、第4回スクーリング11月9日(本部)、11月16日(八王子北高校)
- ⑭八王子「宇宙の学校」のクラブでの組織体制を検討し、会則運営細則の改定、広報パンフレットの改変を行う。

(4) 平成 25 年度 (25.7.1～26.6.30)

- ① 7月11日、臨時総会 2012-2013年度事業報告・決算報告、2013-2014年度事業計画・予算の件
- ② 7月、クラブのホームページリニューアル
- ③ 11月10日全日本プロバス協議会常任委員会にて、加藤会長死去により立川副会長が会長代行に決定
- ④ 11月29日、シニア・ダンディーズ、八王子市議会議場コンサートに出演、養護老人ホーム「竹の里」出演
- ⑤ 12月12日、臨時総会 第18回生涯学習サロン特別会計予算書の件、委員会名変更、2委員会新設の件、「会則」、「運用細則」改定の件は再審議
- ⑥ 2月3日、プロバスクラブ関東ブロック交流会(八王子エルシィ)主催
- ⑦ 第219回例会特別講話に、ワイズ福祉情報研究所、高田敬輔氏をお招きし、「社会インフラ・モニタリングシステム」と題し講演頂いた。
- ⑧ 第220回例会卓話に八王子市都市戦略部自治推進課次長、立花等氏をお招きし、「中核市八王子をめざして」と題しお話頂いた。
- ⑨ プロバス同好会に「カラオケ同好会」が参加した。
第1回2月27日、代表杉山 友一
- ⑩ 創立20周年記念事業準備室の創設
- ⑪ 第222回例会卓話に多摩プロバスクラブ、澤雄二氏をお招きし、「消費税・国税について」と題しお話し頂いた。
- ⑫ プロバスクラブの文書、機材等の「保管マニュアル」の見直し
- ⑬ 八王子「宇宙の学校」スケジュール(次年度)計画
東京工科大学会場：7月6日開校式、スクーリング7月6日、9月28日、10月26日、11月9日、教育センター会場：7月13日開校式、スクーリング7月13日、9月7日、10月19日、11月30日、八王子北高校会場：7月12日開校式、スクーリング7月12日、9月27日、10月25日、11月15日
平成25年度事業報告、収支決算および26年度事業計画・予算の説明があった。
(八王子「宇宙の学校」後援会)
- ⑭ 総会・臨時総会の回数表記について、「〇年度〇月〇日定期(または臨時)総会」表記に統一

- ⑮ 5月8日、臨時総会 会則および運営細則改定の件（定期総会は7月に開催に変更及び理事を11名に増員）、2014-2015年度役員人事の件
- ⑯ 6月、プロバスだよりの印刷会社を変更

(5) 平成 26 年度 (26.7.1～27.6.30)

- ① 7月10日、定期総会 2013-2014年度事業報告・決算報告、
2014-2015年度事業計画・予算の件、創立20周年記念事業・準備委員会の件
- ② 7月24日、創立20周年記念事業準備委員会（第1回）開催、以降第11回まで開催
- ③ 10月15日、八王子市民防犯の集い（いちょうホール）にて、立川会員の被害体験談披露、シニア・ダンディーズ出演、ソプラノ歌手田中三佐代さん、フルート武長秀雄さん共演
- ④ 11月23日、全日本プロバス協議会横浜総会 会員21名参加、立川会長代行会長中村氏決定の為に副会長に留任
- ⑤ 12月11日、臨時総会 第19回生涯学習サロン特別会計予算書の件
- ⑥ 5月10日、八王子市中核市移行記念パーティー（八王子エルシィ）に
シニア・ダンディーズ出演、フルート武長秀雄さん共演
- ⑦ 5月14日、臨時総会 2015-2016年度役員人事の件
- ⑧ 6月28日 平成27年度宇宙の学校開校式・第1回スクーリング(東京工科大学会場)
- ⑨ 7月1日、創立20周年記念事業実行委員会発足
- ⑩ 12月24日シニア・ダンディーズ、養護老人ホーム「檜の里」出演

(6) 平成 27 年度 (27.7.1～)

- ① 7月9日、定時総会 26年度事業報告、決算報告の件
- ② 7月9日 例会において、新年度の会長方針が示された。
キャッチコピーは、「仲間の輪を広げ、楽しみの環を広げよう」
- ③ 27年度八王子「宇宙の学校」は、6月28日 東京工科大学会場で、7月5日教育センター会場で、7月11日 八王子北高等学校でそれぞれ開校式およびスクーリングを開催
- ④ 8月28日、創立20周年記念事業の一つとして、オリンパスホールで行なわれた海上自衛隊東京音楽隊の八王子演奏会の鑑賞会を開催した。準備した約800席が満席の盛況
- ⑤ 9月10日、臨時総会 理事1名交代の件
- ⑥ 9月10日、「広報パンフレット」改訂版を発行

別表① 歴代会長とそのスローガン

期	年度	期間	会長	スローガン
1	平成 7	H7/10/18～H9/6/30	大野 聖二	地域への知的貢献、会員活動の活 発化
2	平成 9	H9/7/1～H10/6/30	藤野 豊	月例会の充実と他プロバスクラブ との交流
3	平成 10	H10/7/1～H11/6/30	野口 正久	会員の拡充と当会の社会的ステータ スの向上
4	平成 11	H11/7/1～H12/6/30	田子 稔	会員間交流の強化と各委員会活動 の充実
5	平成 12	H12/7/1～H13/6/30	平原 俊彦	健康再チェックでより活気ある活 動を
6	平成 13	H13/7/1～H14/6/30	長町 幸雄	健康と長寿を目指した QOL の追 求と円滑なクラブ活動の推進
7	平成 14	H14/7/1～H15/6/30	石井 實	輪・協働・健康
8	平成 15	H15/7/1～H16/6/30	立川 富美代	喜びを分かち合おう・支えあえる 仲間になろう
9	平成 16	H16/7/1～H17/6/30	大高 秀夫	支え合おう・感謝の気持ちで“あ りがとう”
10	平成 17	H17/7/1～H18/6/30	大野 聖二	夕焼けのまちの明日を照らそう
11	平成 18	H18/7/1～H19/6/30	濱野 幸雄	豊かさを求めてプロバスライフを 楽しもう
12	平成 19	H19/7/1～H20/6/30	宮崎 浩平	ふるさとへの恩返し、豊かな知識 と経験を
13	平成 20	H20/7/1～H21/6/30	矢島 一雄	学びそして発信しよう、より豊か な地域社会を求めて
14	平成 21	H21/7/1～H22/6/30	下山 邦夫	広げよう！ プロバスクラブの楽 しみの『環』
15	平成 22	H22/7/1～H23/6/30	杉山 友一	Positive Aging 「遊び心・学ぶ心・奉仕の心」で、 クラブは今年も進化します
16	平成 23	H23/7/1～H24/6/30	佐々木 研吾	創立以来 15 年余、会員の努力で培 ってきた叡智を、さらなる躍進の 糧に
17	平成 24	H24/7/1～H25/6/30	吉田 信夫	親睦と奉仕そして前進 ―クラブ ライフを通じて青春をたぎらせよ う―
18	平成 25	H25/7/1～H26/6/30	荒 正勝	気軽に交流を楽しむクラブ ―優れた運営の仕組みを継承し、 会員活動をより楽しくしよう―
19	平成 26	H26/7/1～H27/6/30	土井 俊玄	〔参加して、真に生甲斐の持てる クラブ〕 ―先人の知恵を受け継ぎ、自分を 出し切ることに徹しよう―
20	平成 27	H27/7/1～H28/6/30	永井 昌平	仲間の輪を広げ、楽しみの輪を広 げよう 1. 20周年事業を成功させる 2. 全員の協力で、会員の増強を図る 3. 等身大の活動を基本に、クラブラ イフを楽しむ

別表② 東京八王子プロバスクラブル歴代役員一覧表

期	年度	会長	副会長	幹事	副幹事	例会	会員	情報	研修	地域奉仕	宇宙の学校	交流担当	監査
1	平成7	大野聖二	藤野 豊	桂 元二		立川富美代	濱野幸雄	北原満夫	田子 稔	野口正久		-	一
2	平成9	藤野 豊	野口正久	立川富美代	桂 元二	松尾信一郎	大高秀夫	平原俊彦	加藤 寛	北原満夫		-	桂 元二
3	平成10	野口正久	田子 稔	濱野幸雄	桂 元二	加藤 寛	井口 禎	大山 泰	鈴木幸雄	平原俊彦		-	大高秀夫 田淵元子
4	平成11	田子 稔	平原俊彦	北川博孝		宮崎浩平	野口勝久	石井 充	立川富美代	吉田信夫		-	岩岡茂之 大野幸二
5	平成12	平原俊彦	長町・立川	大高秀夫		下山邦夫	須藤英雄	石井 實	北川博孝	岩岡茂之		-	渋谷文雄 加藤 寛
6	平成13	長町幸雄	石井 實	宮崎浩平	廣瀬智子	須藤英雄	小林貞男	山下安雄	土井俊玄	下山邦夫		-	小原康直 大串延子
7	平成14	石井 實	立川富美代	松尾信一郎	古川純香	橋本義和	西志村光治	浅輪豊治	塩澤迪夫	濱野幸雄		-	安藤美代子 向山光春
8	平成15	立川富美代	大高秀夫	下山邦夫	鶴田金通	田中 壽	中野義光	武田洋一郎	須藤英雄 矢崎安弘	宮崎浩平		-	石田雅巳 近藤泰雲
9	平成16	大高秀夫	大野聖二	吉田信夫	永井昌平	山崎修司	山下安雄	矢崎安弘	小林貞男	佐々木研吾		-	野末孝雄 古川純香
10	平成17	大野聖二	濱野幸雄	佐々木研吾	下田泰造	徳永保徳	野末孝雄	橋本鋼二	八木啓充	永井昌平		-	石井 充 関戸一郎
11	平成18	濱野幸雄	宮崎浩平	鶴田金通	岡本宝蔵	下田泰造	澤渡 進	荒 正勝	米林伸恭	矢崎安弘		-	山下安雄 中野義光
12	平成19	宮崎浩平	矢島一雄	山崎修司	土井俊雄	浅川文夫	杉山友一	八木啓充	荒 正勝	阿部和也		-	小林貞男 松尾信一郎
13	平成20	矢島一雄	下山邦夫	矢崎安弘	有泉裕子	多村繁樹	下田泰造	長谷川貴訓	橋本鋼二	澤渡 進		-	平 文夫 広瀬智子
14	平成21	下山邦夫	杉山友一	荒 正勝	戸田弘文	宮城安子	岡本宝蔵	竹内賢治	佐々木 正	堀口進 土井俊雄		山崎修司	阿部幸子 小林時雄
15	平成22	杉山友一	佐々木研吾	澤渡 進	高取和郎	東山 栄	川村 真	吉田信夫	土井俊玄	下田泰造		山崎修司	浅川文夫 荒 正勝
16	平成23	佐々木研吾	吉田信夫	永井昌平	宮城安子	有泉裕子	浅川文夫	馬場征彦	岩島 寛	田中信昭		山崎修司	増田由明 竹内賢治
17	平成24	吉田信夫	荒 正勝	塩澤迪夫	川村 真	飯田富美子	橋本晴重郎	寺田昌章	土井俊雄	橋本鋼二		浅川文夫	中野義光 市川昌平
18	平成25	荒 正勝	土井俊玄	馬場征彦	竹内賢治	戸田弘文	荻島靖久	田中信昭	河合和郎	内山雅之		浅川文夫	山崎修司 市川昌平
19	平成26	土井俊玄	永井昌平	武田洋一郎	山口三郎	田中美代子	岡本宝蔵	河合和郎	石田文彦	寺田昌章	下山邦夫	浅川文夫	塩澤迪夫 飯田富美子
20	平成27	永井昌平	岩島 寛	田中信昭	川村 真	荻島靖久	馬場征彦	土井俊雄	戸田弘文	山崎修司 山口三郎	下山邦夫	浅川文夫	有泉裕子 高取和郎

2. 会員相互の親睦

① 例会の開催

八王子プロバスクラブの例会は、毎月第2木曜日を定例会として開催している。予決算や年次活動報告、次年度計画その他総会付議事項がある場合は、例会に先だつて審議、決定するが、例会自体は2時間を予定し、中身が濃く、なごやに進行されるよう、担当の例会委員会のメンバーはもとより会員各位が努力しているところである。

例会の通常の進行の内容は

- ・会食・ハッピーコインの披露(会長か副会長)
- ① 開会(と資料の確認)
- ② 会長挨拶とバースディカードの贈呈
- ③ 卓話
- ④ 幹事報告
- ⑤ 各委員会活動報告(例会、情報、会員、研修、地域奉仕、宇宙の学校、交流)
- ⑥ 同好会活動報告(10の各同好会のうち報告のある会から)
- ⑦ その他案件
- ⑧ プロバス讃歌斉唱ののち閉会(副会長)

としており、適時、来賓のご挨拶や新入会員があつた場合の紹介などを実施する。

以上のような月1度の例会だが、例会はプロバスクラブの顔ともいふべきもので、その時の雰囲気明るく、華やいだものになるよう心がけている。外部から来賓のお客様をお迎えするときは、とりわけ緊張する。また配席については多くの会員との会話、親睦が図られる場であるのでローテーションを考えて配置しているが、それでもときには、席の固定化で変化がないといったような意見が出されることもある。配布する資料については、各自のトレイに余裕を持って配備されるよう関係部署にお願いし、資料の迅速な処理ができるようになった。食事も、会場のエルシィ殿の格段のご理解、ご協力によりメニューに変化をつけながら円滑に準備されている。



② 野外研修

野外研修は、研修委員会が企画、立案し、毎年11月の例会日に実施している。例会を兼ねた研修を目的としていることから、対象地の選択には頭をひねるところであるが、今後も、効果的で楽しさもある野外研修を継続できるよう工夫を重ねていきたい。

野外研修実施リスト

実施年月	目的地	備考
平成22年11月	談論風発会 八王子市「夕やけ小やけ ふれあいの里」	5グループに分け、①八王子プロバスクラブに何を期待するのか、どういうクラブであってほしいのか、②クラブの運営の仕方、運営上の問題について、③社会貢献について、夫々討論した。
平成23年11月	ライフラインの一つ、水・水道について学ぶ	
	1. 東京都水道歴史館	江戸から東京の400年間の水文化及び水道の発展の歴史が展示されている。1653年に玉川兄弟が着手した玉川上水の物語、1898年に開始された近代水道の歩み、神田上水、お茶の水の懸樋、水道管物語等等。
	2. 金町浄水場	都内最大規模150万トン／日の浄水場で、1926年に竣工され、原水は江戸川流水を導入している。1992年からオゾンによる高度浄水処理を開始し、ボトルウォーター「東京水」として市販されるほどおいしい水が供給されるようになる。
	3. 柴又帝釈天	1629年、禅那院日忠及び題経院日栄により開創された日蓮宗寺院である。帝釈堂内殿の装飾彫刻は有名で、また、映画「男はつらいよ」の渥美清演じる車寅次郎のゆかりの寺として知られる。
	4. 矢切の渡し	1631年、江戸幕府が関東代官を管理者として始めた。現在、私営の観光「渡し」であり、小説「野菊の墓」、映画「寅さん」の舞台場所でもある。
	5. スカイツリー	来年半ばに完成する世界最高634mのタワーを遠望する。
	6. 向島百花園	江戸町文化が開いた1805年頃に、骨董商の佐原鞠塙が江戸の文人墨客の協力を得て造った花園である。

<p>平成24年11月</p>	<p>東北地方太平洋沖地震の被災地訪問</p>	
	<p>1. 福島県いわき市</p>	<p>近隣の被災地跡を車窓から見学。住宅・建物が地震と津波できれいに流され、コンクリートの土台だけの所が、なんと多いこと。被災後約1年半経過しているが復興いまだしの感あり。更に塩屋崎に移動し、塩屋崎灯台前の土産物店で、津波を経験した男性から、11回に及ぶ、津波・引き波の恐ろしさを、多くの写真を指さしながら説明を受けた。</p>
	<p>2. 願成寺</p>	<p>福島県いわき市内にある真言宗智山派（しんごんしゅうちさんは）の寺。白水阿弥陀堂は、平安時代末期の1160年（永暦元年）に、岩城則道の妻・徳姫（藤原清衡の娘）によって建立された。徳姫は、夫・則道の菩提を弔うために寺を建てて「願成寺」と名付け、その一角に阿弥陀堂を建立した。国宝の白水阿弥陀堂（しらみずあみだどう）を見学、ここは紅葉の名所として知られ、当日は見頃の紅葉を堪能した。</p>
<p>平成25年11月</p>	<p>新しい東京</p>	
	<p>1. 東京港</p>	<p>東京都港湾局の視察船「新東京丸」で約1時間半、職員の説明を受けながら、東京港を見学した。竹芝小型船ターミナルを出発し、品川・大井・青海等のコンテナ埠頭、廃棄物処理場、東京ゲートブリッジ等を見て回った。2012（平成24）年度に東京港に入港した船舶は25,743隻、取扱貨物量は82,786千トン、貿易額は13.1兆円とのこと。首都圏4,000万人の消費生活と産業活動に欠くことのできない国際交流、海上物流の基地として、また東京港に広がる埋立地を利用しての街づくり等我々の生活と深く関わっており、さらには日本経済の心臓部でもある。日常生活と異なる世界とその規模の大きさに圧倒された。</p>

	2. 歌舞伎座	<p>2013(平成25)年4月に、歌舞伎座タワー(地下4階、地上29階建ての高層オフィスビル)と歌舞伎座(地下2階、地上4階建て)の複合施設「GINZA KABUKIZA」を竣工した。歌舞伎ギャラリーでは「歌舞伎 秋の彩り」をテーマに、秋を象徴する風物 一月、菊、紅葉をキーワードにした歌舞舞踊「玉兔」、「菊畑」、「紅葉狩」の華やかな展示物を観賞した。次に、公演中の歌舞伎座新開場柿茸落「吉例顔見世大歌舞伎 仮名手本忠臣蔵」(菊五郎と左團次が競演)を、天井桟敷からガラス越しに1分間だけ観賞した。さらに、歌舞伎俳優のブロマイドを眺め、木挽町広場で土産物店を冷やかす等して華麗な歌舞伎の世界を楽しんだ。</p>
	3. JPビル (旧東京中央郵便局)	<p>JPビルは旧東京中央郵便局敷地に建設された地上38階建のオフィスビルと、既存建物の一部を保存した低層棟で構成され、2012(平成24)年5月に竣工した。低層棟は、保存された旧東京中央郵便局舎の一部と新築部分で構成された地下1階、地上6階のビルであり、ゆうちょ銀行本店、商業施設KITTE(キッテ=切手)等が入居する。キッテの6階にある屋上庭園から新丸ビル{2007(平成19)年に立替竣工}、東京駅等が林立する丸の内界隈を展望した。キッテは東京駅と直結し、1~6階吹き抜けとガラス天井の明るいアトリウムが目を引き、98店舗が出店する消費のルツボである。</p>
	4. 東京駅丸の内口	<p>国の重要文化財である東京駅丸の内駅舎は、2012(平成24)年10月に、1914(大正3)年に創建された姿に保存・復原された。駅舎のシンボルである南北両ドームの内外の意匠を再現し、新たに地下1・2階を増築し、免震装置を設置した。創建時に再現されたドーム壁内の天井面の鷲と干支等の彫刻、レリーフ等を鑑賞した。</p>
平成26年11月	江の島巡り	
	1. 新江の島水族館	<p>江の島に面する相模湾に棲む海洋生物の展示、8,000匹のマイワシがうねり泳ぐ大水槽、幻想的なクラゲファンタジーホール、イルカのショー等を見学し、魚の生態等を学習する。</p>

	2. 江の島	「江ノ島神社」、「展望灯台」、「サムエル・コッキング苑」等の名所・旧跡を自由散策するとともに、秋の海を眺望する。
	3. 遊行寺	鎌倉時代に創建された遊行寺(ゆぎょうじ)は、日本の芸能に大きな影響を与えた踊り念仏で有名な時宗(じしゅう)の総本山である。時宗は浄土教の一宗派で、開祖は一遍上人(いっぺんしょうにん)である。また、藤沢は遊行寺の門前町として生まれ、「藤澤山」の山号が町の名となり、やがて東海道の宿場町に発展し、今日の藤沢市となった。このような歴史的背景の遊行寺を参拝した。なお、箱根駅伝の往路の戸塚・権太坂と並んで復路の藤沢・遊行寺の坂は駅伝の難所である。



③ 卓話

卓話は、研修委員会が人選を担当し、原則として例会において会員が話し手となるが、適時、時局にあったテーマについて外部の方に講演をお願いしている。最近5年間の卓話の演題と実施者を以下に掲載する。

なお、卓話の概要についてはホームページから索出できるよう「プロバスだより」の掲載号数を記載したので参考にされたい。

卓話のテーマと話し手

実施年月	氏名	テーマ	プロバス日より 掲載号数
平成22年			
12月	久野 久夫	病院のことあれこれ～ 医師との良き関係	182
平成23年			
1月	的川 泰宣	KU-MA (宇宙の学校) が目指すもの	183
2月	山形 忠顯	体験的教育小論	184
3月	池田 ときえ	縄文に魅せられて一私の考古学事始め	185
6月	渋谷 文雄	辛亥革命秘話:孫文を支援した日本人	188
8月	熊田 眞瑜美	遣唐使と仏教伝来	190
9月	萩島 靖久	庭いじりの知恵	191
10月	馬場 征彦	「海底ケーブル」の話・抄録	192
平成24年			
1月	平澤 正規	宇宙と大地の謎を追って	195
2月	根本 洋子	医療関係の知っておこう豆識	196
3月	八木 啓充	めだかの学校ちよいと体験	197
4月	矢島 一雄	天空の峰を訪ねて	198
8月	渋谷 文雄	8月に憶う	202
9月	土井 俊玄	教職時代の思い出	203
10月	永井 昌平	メートル法と尺貫法	204
12月	有泉 裕子	山歩きを楽しむ	206
平成25年			
1月	廣瀬 智子	「戦争と平和」～戦時下の子供たちと平和について	207
2月	増山 敏夫	ブータン王国に旅して	208
3月	萩島 靖久	庭いじりの知恵につて II	209
4月	山崎 修司	アイヌの文化 について	210
8月	土井 俊玄・馬場 征彦・河合 和郎	私の戦争体験	214
9月	渋谷 文雄	危機管理について	215
10月	野口 浩平	B級コレクション コインの話	216
12月	山口 三郎	わが国の国際貢献 (ODA) について	218
平成 26 年			
1月	高田 敬輔	社会インフラ・モニタリングシステム	219
2月	立花 等	中核市八王子をめざして	220

3月	内山 雅之	能狂言を楽しんでみませんか	221
4月	澤 雄二	消費税・国債について	222
8月	磯 洋一	八王子の下水道と水辺環境	226
9月	矢島 一雄	写真同好会の作品紹介	227
10月	鈴木 弘昭	多摩の信用金庫について	228
12月	鈴木 はるみ	現在の幼児教育のおかれている環境について	230

平成27年

1月	岡部 洽	妻木晩田遺跡と上淀廃寺	231
2月	高橋 敏夫	人にとって車とは何か	232
3月	根本 照代	介護保険制度について	233
4月	土井 俊玄	美しい老いを迎えるために	234
8月	石田 文彦	杜甫「春望」「国破山河在り・・・」の解釈	238
9月	山崎 光子	発達障害と居場所作り	239

④ プロバスだよりの発行

プロバスだよりは1995・11・9の第一回例会の開催を機に発刊され、月1回の例会の活動状況を記録し、クラブ活動状況の取りまとめ、記録、報告誌として、大切な役割を担っている。平成26年度からは、専門業者による本格的なカラー印刷化がはかられた。

なお、プロバスだよりのバックナンバーは、毎月の発行と同時にホームページに記録され、創刊号から最新号までの閲覧を可能としている。

次に、プロバスだよりの発行に関する関連業務として、情報委員会においてホームページの維持管理を行なっている。

平成16年(2000年)に関係者の努力で、八王子プロバスクラブのホームページが立ち上げられた。これ以降、プロバスクラブの組織の紹介、活動状況はほぼすべて検索できることとなっている。

加えて、生涯学習サロンを記録するための抄録の編纂・発行も情報委員会の担当である。平成27年度で第19回を数える「八王子プロバスクラブ生涯学習サロン」の開催概要は全て抄録に収録され、関係者に配布されており、ホームページにも全文が掲載されている。(河合 和郎)



⑤ 同好会活動

お茶同好会

1. 会員 塩澤迪夫、宮崎浩平(会長)、山崎修司、阿部治子(講師)、池田ときえ、有泉裕子、竹内賢治、高取和郎、川村 真(幹事)、山形忠顯、内山雅之、浅川文夫
野口正久(故人)、岩岡茂之(故人)、須藤英雄(故人)、北川博孝(故人)
矢崎安弘(退会)、中野義光(退会)、阿部和也(退会)

2. 活動の基本

(1) 例会日 毎月第4火曜日 10:00～12:00

(2) 場所 阿部治子会員教場

3. 茶の会活動 その一

	(行事)	(掛軸)		(行事)	(掛軸)
1月	初釜	彩鳳舞丹宵	7月	七夕茶会	清流無間断
2月	節分茶会	梅花和雪香	8月	涼を楽しむ茶会	滝三千丈
3月	雛節句茶会	春晴春永碧	9月	菊見茶会	白雲拘幽石
4月	観桜茶会	一華開五葉	10月	月見茶会	一曲琵琶奏月明
5月	端午茶会	吹毛劍	11月	炉開	楓葉経霜紅
6月	ほととぎす茶会	閉座聴松風	12月	歳暮茶会	無事

4. 茶の会活動 その二

各月の定例茶の会のほか茶と旅を楽しむ観点から、適時、野外茶会を実施している。

(平成21年4月) お茶の会、写真同好会合同で伊那谷一本桜 増泉寺で茶の湯を楽しむ

(平成24年4月) 桜を見る予定の旅だったが、気温が低く、開花が遅れたため、

飯田市、元善光寺、妻籠宿、奈良井宿を観光し、昼神温泉で一泊、親交を深める。

(平成26年7月) 熱海の花火を楽しんだ後、MOA美術館で掛軸、絵画、焼物等の名作を鑑賞した。



写真同好会

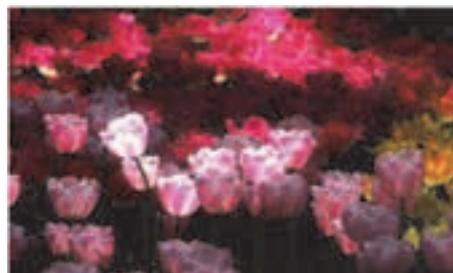
幹事： 下山邦夫、矢島一雄、武田洋一郎、

登録会員： 浅川文夫、有泉裕子、岡本宝蔵、小林時雄、下山邦夫、武田洋一郎、
立川富美代、田中美代子、土井俊玄、橋本晴重郎、八木啓充、矢島一雄

(活動の内容)

四季それぞれの撮影会を開催するほか、会員の作品を随時発表して、会員の親睦と技術の向上を図っている。

平成 23 年 4 月 4 日	新宿御苑の桜撮影会の開催
平成 23 年 11 月 30 日	古都鎌倉の紅葉の撮影会の開催
平成 24 年 11 月 5 日～6 日	北茨城花貫溪谷、花園溪谷の紅葉撮影会の開催
平成 25 年 3 月 14 日	3月例会の会場において会員の作品展を開催
平成 25 年 12 月 2 日	養老溪谷と栗又の滝撮影会の開催
平成 26 年 4 月 26 日	奥多摩湖の桜撮影会を開催
平成 26 年 7 月 15 日～16 日	長野県白馬五竜の高山植物の撮影会を開催
平成 26 年 9 月 11 日	9月例会において「卓話：花のある風景」と題する 会員の写真をビデオで紹介した。



囲碁同好会

囲碁同好会の運営の概要は次に示すとおりであり、登録会員 12 名のほか、多摩および日野両プロバスケットボールクラブからもヴィジターとして参加いただいております、会員相互の親睦はもとより、隣接クラブとの交流促進に寄与しています。

代表幹事： 下山邦夫

会計幹事： 橋本鋼二

登録会員： 浅川文夫、大野聖二、渋谷文雄、下山邦夫、田中信昭、橋本鋼二、
馬場征彦、東山 栄、宮崎浩平、矢島一雄、山崎修司、吉田信夫

客員会員： 矢崎安弘

ヴィジター： (多摩) 堀内氏、上田氏 (日野) 後藤氏、矢野氏

月例囲碁会： 毎月第 1 金曜日と第 3 金曜日 13:00～17:00

場 所： 台町市民センター

20～24名と大きなコンペとなっています。幹事クラブが1年毎に変わるため、それぞれのクラブが特色を出し、大変楽しいコンペとなっており、他クラブのメンバーの方々の会話も弾み、また、クラブ間の相互交流も活発に行なわれるようになり、親睦の輪が広がってきております。(幹事 米林 伸恭)



ぼけない麻雀研究会

同好会が発足したのは六年前、平成22年1月19日15名で始めたのが第1回目。幹事は矢崎安弘さん。「ぼけない麻雀研究会」と称し、麻雀中は「喫煙しない」「飲まない」「賭けない」を座右の銘とした。

プレー後は親睦を図るため会食(含むお酒)をする。2代目幹事は東山榮さんで、会員数もほとんど増減なく、12名の会員を3代目の私が引き継いでいる。この会の良いところは賭け麻雀をしないことで気軽に出来ることだが、面白味をつけるため一位から3位までに些少の景品が贈られる。

また、私が幹事になってから一部規約を見直し、メンバーが足りない場合にはOBとか他のメンバーを入れ、数を合わせ抜け番なしでプレーできるようにしている。プロバスクラブも20周年を迎えるわけだが、会員が指先と頭を使って、何時までも元気で過ごせるよう、これからも貢献していきたい。(幹事 荻島 靖久)

美術鑑賞の会

美術鑑賞会は、平成21年後半に結成され、特に会員を特定せず、多くの会員が関心のありそうな展覧会に参加を呼びかけることとして出発した。12月に 国立西洋美術館で開催された「古代ローマ帝国の遺産」を観ることから会の活動が始まり、以来今まで12回の会を行なった。ここ5年間の活動実績は次のとおりである。

平成23年10月	「土門拳の古寺巡礼」夢美術館紹介
平成23年12月27日から	「黄檗山万福寺展」日本橋高島屋 茶道部との共同企画
平成24年5月23日	「ボストン美術館・日本の至宝」東京国立博物館

平成 24 年 6 月 19 日 「藝大コレクション 春の名品選」東京芸術大学美術館
 平成 24 年 12 月 25 日 諏訪湖周辺の美術館(原田泰治美術館「イルフ童画館」)
 「メトロポリタン美術館」東京都美術館
 「下町風俗資料館」上野池之端
 平成 25 年 9 月 21 日 八王子の美術館巡り1「田中美術館」「ムラウチ美術館」
 平成 25 年 12 月 25 日 八王子の美術館巡り2「田中美術館」「富士美術館印象派展」
 平成 26 年 11 月 1～1 日 新潟の縄文土器(火焰土器)を見る旅
 「十日町博物館」「津南なじょもん」「新潟県立博物館」
 「馬高資料館」ほか(歴史の会、旅の会)との共同企画)
 平成 27 年 5 月 30 日 八王子の美術館巡り3「百草画荘」「日野市立小島善太美術館」
 「百草園散策」



歴史を肴に語ろう会

歴史関係の勉強会である。博物館や遺跡、由緒ある名所・旧跡などを見学したり、有識者の話を聞いたり、年数回実施している。

代表幹事 土井俊雄

幹事 荒正勝、澤渡進、下田泰造、八木啓充

会員数 約 40 名

これまでの活動実績は、次表のとおりである。

「歴史を肴に語るろう会」活動状況・履歴（H22.11～H26.11）

例会	期日	講演・探訪テーマ	講師・案内	資料作成	探訪場所	会食場所	参加員数
第19回	H22.11	晩秋の秩父路歴史散策 「鉢形城・和鋼採掘跡など」	荒・澤渡・土井	土井・田中 (外部)	鉢形城・和鋼採掘跡・祭り会館・秩父神社・ 龍勢会館・大滝栃本関所跡・滝沢ダム		合計18名 懇親会10名
第20回	H23.7	シリア・ヨルダン歴史の旅(講座式)	荒正勝	荒正勝	世界3大文明発祥地の一つ、メソポタミアに 隣接するシリア、ヨルダンをすばらしい写真 で説明	八王子駅ビル7階、庄や	24名
第21回	H23.12	ノンフィクション作家による「幕末海外 にとび出した士(サムライ)たち	講師、泉三郎氏	泉三郎氏	米欧回覧「岩倉使節団の足跡を追って」 泉三郎氏の著作からの講演	美ささ苑(忘年会) 泉三郎氏奥様経営	22名
第22回	H24.8	古代と現代科学文明を散策する旅	企画、荒正勝	運営:実施 荒・土井・八木	縄文期の田名・塩田遺跡群(相模原市博物 館を含む)と科学の先端に行く「JAXA」見学	割烹三代アユ料理	17名
第23回	H24.10	徳川家・明治維新ゆかりの旧跡地探訪	増田由明 港区観光 ボランティアと協力	案内 増田・土井	①毛利庭園②泉岳寺③増上寺④愛宕神社 ⑤東京タワー等 見学	初めての試みとして電車 で現地集合・現地解散 にしました 概ね好評でした	16名
第24回	H26.3	前回ボランティアガイドによる港区散策 のシリーズとして「台東区」 観光ボランティアによる江戸・下町 見学と健康ウォーキング	増田由明 台東観光 ボランティアと協力	案内 増田・土井	①東照宮②寛永時③東京都美術館 ④下町風俗資料館等		14名
第25回	H26.11	縄文期中期の火焔土器見学を通し太 古の昔のロマンに夢をつなごう	企画: 旅の会池田会員の 発案に歴史の会協賛	案内:新潟県 文化財専門委員 山本肇氏	十日町市博物館・津南町「なじよもん」・長 岡科学博物館等をめぐり火焔土器の 魅力に取りつかかれた一泊二日の旅でした	帰りの新幹線では新潟 の美酒を愛でながら火 焔土器を懐古しました	総勢15名

俳句同好会

「俳句に興味がある」という会員の声が集まり、プロバスクラブの中に「俳句同好会」が誕生したのは平成23年12月のことであった。発足時のメンバーは5人。月を重ねるとともに同好の士があつまり、発足4年後の現在では10人の句友を擁するまでになった。

主な活動状況は次のとおりである。

① 俳句月例会

毎月一回定例の俳句会を開催し、作品を持ち寄り、相互鑑賞し、評論することの楽しさを味わっている。俳句会（例会）は平成23年12月8日の第1回に始まり、以後毎月の第2水曜日を例会日とし、発足以来一度も欠かしたことはない。

1人4句ずつの作品を持ち寄り、相互に選句を行い、自由に批評し合う。時に俳句を離れて人生論や世相の批判などになると、もう止まるところを知らない。これがまた実に面白い。人生の達人達の話は尽きることを知らない。俳句は正に“知的快楽”の坩堝なのである。

② 今月の一句

俳句同好会が恵まれていることの一つに、プロバスだよりの巻末に、毎月の句会の作品「今月の一句」が掲載されることである。この紙面で、自分の作品が鑑賞されることは作者にとっては、この上なく緊張することである。様々な批評を頂くことで、創作意欲が刺激され、大いなる励みになるのである。

③ 合同句集の発行

同好会が発足してから早や3年余。この間、既に合同句集「夕やけ」を2号まで発刊した。日常生活の中での自然との会話、創作の喜び。“俳人はボケ知らず”をモットーに俳句人生を楽しんでゆきたいと願っている。

（幹事 河合 和郎）



旅の会

“旅は知識の宝庫”と先人が言っている。プロバス旅の会は、先人の教えに従い“楽しみ”と“学び”を半々に、年に数回、国内外を旅する事を目標に発足した。会員数は18名。

実施に当たっては、国内は、他の同好会と共同で、多くのプロバス会員が参加でき、

楽しく学べる会を目指している。海外については、会員が未踏の場所を選び、未知の世界を楽しみ、学びたいと思っている。

最初の海外旅行は、モンゴルに行った。モンゴルは日本の約4倍の国土に、人口は270万強で、首都ウランバートルに110万強住んでいるので郊外に出ると広い平原に時々羊の群れが見えるのみで人の姿は見えない。幹線道路は一応舗装されているが、ガタガタ道でバスの旅は大変だったが広大な草原の中のゲルに泊まり、8月なのに夜はマキストーブを焚き、ゲル前の草原に寝そべり、手が届きそうな満天の星空を眺めて、幸せな時を過ごした。



今年度の旅の会は、今年の11月1日に「歴史の会」、「美術鑑賞の会」と合同で新潟地方に数多くある「火焰土器」の博物館を中心に郷土資料館等を巡り、縄文時代の生活実態を観て回った。東京駅から上越新幹線に乗って新潟県浦佐駅まで約2時間半の旅。昼食もそこそこに火炎土器のある博物館、郷土資料館巡りをする。案内の新潟県庁職員の解り易い説明で、縄文時代の火焰土器を中心に観て回ったが、何処から

来たかも未だ謎が残る我々の先祖は雪が多く、現在でも冬に住むのが大変な新潟地方に何故住み着いたのか？やはり、日本一の長さを誇る雄大な信濃川か？……。さらに夕方までと、翌日も何軒かの歴史館を訪ね、“学びと楽しみ”のプロバス精神を満喫した楽しい旅を閉じた。

(幹事 山崎 修司)



カラオケ同好会

平成26年2月17日、会員24名の登録を頂いて発会したカラオケ同好会は、クラブ内の同好会としては10番目ということになります。その後、1年間で11回の例会を開催し、延べ126名の参加を頂きました。そもそも、同好会は出欠自由、途中の入退場も自由とし、要は原則として毎月最終木曜日の14時～17時まではJR八王子駅北

口前のカラオケ館で例会を開いていますから、お気の召すままにどうぞという自由度100%の同好会です。

カラオケは何とも日本人向きの産業で、少し大げさにいえば健康産業の一翼も担っているともいえるでしょう。装置には、いろいろとキメ細かな、緻密な性能が加味されていて、歌い手の満足感を誘います。真面目な話、脳科学者はカラオケの脳内効果を証明していますし、認知症予防効果も大きいと考えられます。人は老化とともに高い声や大きな声が出なくなりますが、お腹から声を出す訓練は健康寿命を延ばしてくれます。

カラオケは他人の歌を聞いていないといけないからねー、という方もいますが、仲間を通してストレスに対する忍耐力や環境への適応能力が自ずと高まり、老化防止に繋がるのです。

「カ」勝手に歌って「ラ」楽を得て「オ」大声出して「ケ」健康増進…飛び入り歓迎
(お世話会員：杉山 友一、浅川 文夫、高取 和郎)



(ご参考) 以下の作品は、生涯学習サロンの「絵手紙講座」の講師として、会員の誕生祝いの作者として活躍している池田ときえ会員の描いた作品の一例です。



3. 地域奉仕活動

① 生涯学習サロン

プロバスクラブは、第一線を退いた専門的職業人や実業人達で構成され、その豊かなキャリアを生かし、社会に貢献していこうという趣旨で生まれた団体である。高齢化社会を迎えて生涯学習のニーズが高まっている現状に鑑み、当クラブの目的である「知り合いを広め、豊かな人生経験を生かして、地域社会に奉仕する」との趣旨を実行すべく、会員それぞれがその知識と経験を生かし、市民と共に学習する事業として、八王子市を始め八王子市教育委員会、八王子南ロータリークラブのご後援を頂き、平成9年に第1回生涯学習サロンが開催された。

掲げたスローガンは「学ぼう 豊かな社会経験を、語ろう それぞれのライフワークを、広げよう 知り合いを」である。以来、私達クラブの地域奉仕活動の大きな柱として、多くの市民の方に支えられ本年度で第19回を迎えることが出来た。

[サロン運営の方法とカリキュラム]

生涯学習サロンは、地域奉仕委員会が中心となり企画・運営をしているが、原則として会員自身が「話し手」となり実施している。演題は、郷土史、古代史、近代史、世界史、社会問題、趣味（写真、お茶、絵手紙、映画、音楽、旅行等）医療・健康・美容、科学、世界遺産、法律、経済、歴史上の人物、一般教養など多岐にわたっている。

また、開講式と閉講式には外部から講師を招き、特別講演をして頂いている。最近では第1週から第3週サロンで、それぞれ4講座を設け、その中から1講座を選択し受講して頂く方式を取っている。しかし参加した市民からは、全ての講座を聞きたいとの希望も多く寄せられているが、会場や日程などの関係から実現が難しく、今後の課題となっている。

野外サロンは日帰りバスを利用し、歴史や芸術、科学などの施設を巡って、知識を深めている。そして閉講式の後には、さよならパーティーを開催し、その時々のアトラクションを中心に参加者との心温まる交流を深めている。

本誌には第15回から第19回までのカリキュラムと参加者数を掲載した。

なお生涯学習サロンの抄録はホームページ（東京八王子プロバスクラブ、<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>）の「クラブ活動」、「生涯学習サロン」をクリックしてゆくと、過去のサロン紹介として各回の抄録が掲載されている。

[各年度の生涯学習サロンのカリキュラムと日程]

第15回(平成22年度)から第19回(平成26年度)までの、各年度の生涯学習サロンのカリキュラムと日程および各年度の参加者数は次のとおりである。

第15回 生涯学習サロン カリキュラムと日程 (変更)

会場：八王子エルシイ

<p>閉講式 2月24日(木) 13:30～16:00</p>	<p>13:30～14:00 閉講式 14:00～14:30 コーヒータイム 事務連絡 14:30～16:00 特別講話 「戦国武将の女性たち」 講師 京都造形芸術大学教授 松平 定知 先生 元NHKキャスター</p>	
<p>サロン</p>	<p>テーマ</p>	<p>話をする人</p>
<p>3月10日(木) (第1週) 14:00～16:10</p>	<p>A 108日間地球一周の船旅・その光と影 B なるほどそうなのか「携帯電話」 C 貼って、押して ～絵手紙の裏技教えます～ D 懐かしの映画とその音楽</p>	<p>田中 信昭 馬場 征彦 池田ときえ 立川富美代</p>
<p>3月24日(木) (第2週) 14:00～16:10 (中止)</p>	<p>A 八王子発祥の書芸術「破体書」 B 病院の事あれこれ C 一期一会の出会いを楽しむ茶会 D 激変する中国を視る</p>	<p>阿部 和也 久野 久夫 阿部 治子 渋谷 文雄</p>
<p>4月14日(木) (第3週) 14:00～16:10</p>	<p>A 八木重吉の詩を味わう B 経済の動きと私たちの暮らし ～「東日本大震災」とその影響を中心に～ C 「あさま山荘事件」現場を語る D あなたを10歳若くするコーディネートを楽しもう 山野美容芸術短期大学客員教授 美容研究家 元ミスインターナショナル日本代表</p>	<p>近藤 泰雲 佐々木研吾 橋本晴重郎 公文 裕子 先生</p>
<p>野外サロン 4月28日(木) 7:30～17:30 (中止)</p>	<p>潮風を楽しもう！！ ～深海魚世界一江の島の水族館と島めぐり～</p>	
<p>閉講の集い 5月12日(木) 14:30～16:50 (予定変更)</p>	<p>14:30～16:00 特別講話「自分らしく生きるための老いじたく」 ～成年後見制度と遺言～ 講師 弁護士 中山 二基子 先生 16:00～16:50 閉講茶話会</p>	

第16回 生涯学習サロン カリキュラムと日程

会場：八王子エルシイ

<p>閉講日</p> <p>平成 24 年 2 月 23 日 (木) 13:30～16:00</p>	<p>13:30～14:00 閉講式</p> <p>14:00～14:30 コーヒータイム 事務連絡</p> <p>14:30～16:00 特別講話 「堂々たる日本人～今、岩倉使節団から何を学ぶべきか」 講師 ノンフィクションライター 泉 三郎 先生 ーグローバル・ジャパン・フォーラム (NPO) 米欧亜回覧の会 理事長</p>	
<p>サロン</p>	<p>テーマ</p>	<p>話をする人</p>
<p>第 1 週 3 月 8 日 (木) 14:00～16:10</p>	<p>A ・幕藩体制の下、日本人として大切な生き方を教えてくれた、鈴木正三について ・謎に包まれた大久保長安</p> <p>B 水について</p> <p>C 八王子市のスポーツ事情について</p> <p>D 絵手紙で春を見つけよう</p>	<p>近藤泰雲</p> <p>大野聖二 岩島 寛 岡部 治 池田ときえ</p>
<p>第 2 週 3 月 22 日 (木) 14:00～16:10</p>	<p>A 中国の現状と将来を視る</p> <p>B 日本古代の石文化―翡翠を中心に―</p> <p>C 自分の健康管理はご自分で</p> <p>D 一期一会の出会いを楽しむ茶会</p>	<p>渋谷文雄 永井昌平 宮城安子 阿部治子</p>
<p>第 3 週 4 月 12 日 (木) 14:00～16:10</p>	<p>A 内外経済の動きと私たちの暮らし</p> <p>B メソポタミアのマリ、パルミラ、ペトラまでの古代史の旅</p> <p>C 病院の上手なかかり方</p> <p>D 懐かしの映画とその音楽 X II</p>	<p>佐々木研吾 荒 正勝</p> <p>久野久夫 立川富美代</p>
<p>野外サロン 4 月 26 日 (木)</p>	<p>“見直そう 富士山麓”～その自然と富士信仰の歴史～ 富士ビジターセンター～(富士スバルライン)～富士山五合目～ 河口湖～富士山レーダードーム～富士吉田市歴史民俗博物館 他</p>	
<p>閉講日</p> <p>5 月 10 日 (木) 14:30～19:00</p>	<p>14:30～15:00 閉講式</p> <p>15:00～16:30 特別講話 「監督～挫折と栄光の箱根駅伝」 講師 川嶋伸次 先生 旭化成 陸上競技部 コーチ 元 東洋大学陸上競技部監督</p>	
	<p>17:00～19:00 さよならパーティ 「歌でつづろう・あなたの故郷」</p>	

第17回 生涯学習サロン カリキュラムと日程

場所：八王子エルシイ

開講日	13:30～14:00 開講式		
	14:00～14:30 コーヒータイム 事務連絡		
平成25年	14:30～16:00		
2月28日(木)	特別講話 「世界の客船とクルーズの楽しみ方」		
13:30	講師 稲垣 孟 先生		
～	クリスタル・クルーズ社(ロスアンゼルス) 副社長、		
16:00	客船「クリスタル・ハーモニー」副船長(北米にて運行)、客船「飛鳥」船長、など歴任。東京湾水先区水先人		
サロン	テーマ		話をする人
第1週	A	庭いじりの知恵	荻島 靖久
3月14日(木)	B	今いちばんの危機管理	竹内 賢治
14:00～1	C	草笛禅師の生涯並びに草笛とノコギリの演奏	近藤 泰雲
6:10	D	絵手紙 ―基本のおさらいをもう一度―	池田ときえ
第2週	A	文明が直面する壁 ―地球の有限性―	馬場 征彦
3月28日(木)	B	生活安全講話サロン「財産犯罪被害」	杉山 友一
14:00～1	C	登山の楽しみ	内山 雅之
6:10	D	ひととき煎茶の世界へ	阿部 治子
第3週	A	内視鏡の開発と開発の裏話	寺田 昌章
4月11日(木)	B	最近の経済の動きを探る	佐々木研吾
14:00～1	C	竹島と尖閣の歴史を検証する	渋谷 文雄
6:10	D	懐かしの映画とその音楽 XⅢ	立川富美代
野外サロン	世界遺産申請中の「富岡製糸場」、重要文化財のある妙義山妙義神社など		
4月25日(木)			
閉講日	14:30～15:00 閉講式		
	15:00～16:30		
5月9日(木)	特別講話 「老いを科学する 時が人を調す」		
14:30	講師 田沼 靖一 先生		
～	東京理科大学薬学部教授、薬学部長		
19:00	著書:「遺伝子の夢」(NHK ブックス)、「死の起源」(朝日選書)、「ヒトはどうして老いるのか」(ちくま新書)、「生化学」朝倉書店、「ヒトはどうして死ぬのか」(幻冬舎新書)など		
	17:00～19:00 さよならパーティ		

第18回 生涯学習サロン カリキュラムと日程

場所：八王子エルシイ

開講日	13:30～14:00 開講式	
	14:00～14:30 コーヒータイム 事務連絡	
平成26年 2月27日(木)	14:30～16:00 特別講話 今「万葉集が面白い」 講師 小河原 正己 先生	
13:30～ 16:00	フリー プロデューサー: 主な制作番組「ヒロシマ・ドキュメンタリ、「核戦争後の地球」、 「日曜日美術館」、ループル美術館」、「海のシルクロード」など。 著書：「アジアの民芸」「君はヒロシマを見たか」「ヒロシマはどう記録されたか」	
サロン	テ ー マ	話をする人
第1週 3月13日(木)	A 実用の絵手紙 ～ 小さな絵を描く	池田 ときえ
14:00～	B 薬の飲み方、使い方	高取 和郎
16:00	C 古代マヤ文明に魅せられて	荒 正勝
	D 千人同心と興岳寺	土井 俊玄
第2週 3月27日(木)	A 一度はみんなでのぞいてみよう「犯罪白書」	杉山 友一
14:00～	B 鏡の日本史	永井 昌平
16:00	C 八王子で生れた江戸時代屈指の女流俳人松原庵三世榎本星布	大野 聖二
	D 八王子空襲	廣瀬 智子
第3週 4月10日(木)	A 懐かしの映画とその音楽 XV	立川 富美代
14:00～	B 経済の動きと私たちの暮らし～消費税増税、デフレ脱却、財政改善など	佐々木 研吾
16:00	C 流転の王妃「愛新覚羅・浩の生涯」	渋谷 文雄
	D 八王子を知ろう 上恩方町・小津町の里山の魅力	増田 由明
野外サロン 4月24日(木)	<世界一・日本一・世界に一つ> 一番を求める旅へのお誘い 時速581キロ世界最速リニア、日本一のウイスキーと天然水南アルプス白州工場、 世界にたった一つのキース美術館見学	
閉講日	14:30～15:00 閉講式	
5月8日(木)	15:30～16:30 特別講話 『外交官生活の舞台裏 IN中東・イラン』	
14:30～ 19:00	講師 駒野 欽一 先生 元外交官 前イラン大使 アフガニスタン、エチオピア(海賊対策の拠点ジブチを兼任)およびイランの各大使を務 めて、一昨年秋に退官。 著書：「私のアフガニスタン 駐アフガン日本大使の復興支援奮闘記」	
	17:00～19:00 さよならパーティー	

第19回 生涯学習サロン カリキュラムと日程

場所：八王子エルシイ

開講日	13:30～14:00	開講式	
	14:00～14:30	コーヒータイム 事務連絡	
	14:30～16:00	特別講話「日本政治の昨日・今日・明日」	
平成27年 2月26日(木)	13:30～ 16:00	講師：島田 敏男 NHK解説主幹 山梨県甲府市出身。中央大学法学部政治学科卒業後1981年NHKに入局 NHKでは主に政治・外交・安全保障・選挙のスペシャリストとして、それらの解説を担当され、現在は「日曜討論」等の司会やNHK解説委員室の番組に多く出演。	
サロン	テ ー マ		話をする人
第1週	A	さくらの絵手紙	池田 ときえ
3月12日(木)	B	我が国の国際貢献（JICAの経験を通じて）	山口 三郎
14:00～	C	くらしを豊かにする宇宙テクノロジー	下山 邦夫
16:00	D	人口減に直面した市内大規模住宅団地の今後は考察する	磯 洋一
第2週	A	懐かしの映画とその音楽(16)	立川 富美代
3月26日(木)	B	廃プラスチックはごみか	田中 信昭
14:00～	C	近世江戸時代の八王子を知る	宮崎 浩平
16:00	D	シルバーエイジを輝いて過ごすためにパートIV	石田 雅巳
第3週	A	アナログとデジタルの話	馬場 征彦
4月9日(木)	B	食糧輸入大国一飽食の先に見える暗影一	橋本 鋼二
14:00～	C	歴史を見つめる視点一アイルランドの飢饉等	土井 俊雄
16:00	D	正念場を迎える日本経済	佐々木 研吾
野外サロン 4月23日(木)	横須賀「軍港めぐり」アメリカ海軍や海上自衛隊の艦船が解説付きで見られる日本唯一のクルージング、記念艦「三笠」自由見学、舟盛定食とショッピング。		
閉講日	14:30～15:00	閉講式	
	15:00～15:15	休憩	
	15:15～16:30	特別講話「在宅医療と看取りまで」	
5月14日(木)	14:30～ 19:00	講師：数井 学 数井クリニック院長 昭和57年順天堂大学医学部卒業、順天堂大学胸部 心臓外科を勤務後 平成8年聖八王子病院院長を経て、平成19年数井クリニックを開設され院長となる。八王子医師会理事、八王子居宅介護支援事業所協議会代表理事。	
	17:00～19:00	さよならパーティー	

第15回東京八王子プロバスケットボール生涯学習サロン参加者数

	期 日	一般参加者	P C 会 員	合 計
開 講 式	平成23年 2月24日 (木)	103 名	62 名	165 名
サ ロ ン 第 1 週	〃 3月10日 (木)	81 名	63 名	144 名
サ ロ ン 第 2 週	〃 3月24日 (木)	注	注	注
サ ロ ン 第 3 週	〃 4月14日 (木)	75 名	61 名	136 名
野 外 サ ロ ン	〃 4月28日 (木)	注	注	注
特 別 講 話	〃 5月12日 (木)	86 名	59 名	145 名
茶 話 会		53 名	59 名	112 名
合 計		398 名	304 名	702 名

注) 東日本大震災によりサロン第2週と野外サロンは中止

第16回東京八王子プロバスケットボール生涯学習サロン参加者数

	期 日	一般参加者	P C 会 員	合 計
開講式・特別講話	平成25年 2月23日 (木)	57 名	56 名	113 名
サ ロ ン 第 1 週	〃 3月 8日 (木)	73 名	61 名	134 名
サ ロ ン 第 2 週	〃 3月22日 (木)	62 名	56 名	118 名
サ ロ ン 第 3 週	〃 4月12日 (木)	58 名	63 名	121 名
野 外 サ ロ ン	〃 4月26日 (木)	42 名	45 名	87 名
閉講式・特別講話	〃 5月10日 (木)	49 名	67 名	116 名
さよならパーティー		42 名	58 名	100 名
合 計		383 名	406 名	789 名

(来賓・特別講師を除く)

第17回東京八王子プロバスケットボール生涯学習サロン参加者数

	期 日	一般参加者	P C 会 員	合 計
開講式・特別講話	平成25年 2月28日 (木)	76 名	62 名	138 名
サ ロ ン 第 1 週	〃 3月14日 (木)	88 名	63 名	151 名
サ ロ ン 第 2 週	〃 3月28日 (木)	72 名	57 名	129 名
サ ロ ン 第 3 週	〃 4月11日 (木)	84 名	61 名	145 名
野 外 サ ロ ン	〃 4月25日 (木)	46 名	40 名	86 名
閉講式・特別講話	〃 5月 9日 (木)	68 名	65 名	133 名
さよならパーティー		45 名	56 名	101 名
合 計		479 名	404 名	883 名

(来賓・特別講師を除く)

第 18 回東京八王子プロバスケットボール生涯学習サロン参加者数

	期 日	一般参加者	P C 会 員	合 計
開講式・特別講話	平成26年 2月27日 (木)	73 名	64 名	137 名
サ ロ ン 第 1 週	〃 3月13日 (木)	75 名	57 名	132 名
サ ロ ン 第 2 週	〃 3月27日 (木)	74 名	54 名	128 名
サ ロ ン 第 3 週	〃 4月10日 (木)	69 名	54 名	123 名
野 外 サ ロ ン	〃 4月24日 (木)	53 名	37 名	90 名
閉講式・特別講話	〃 5月 8 日 (木)	55 名	69 名	124 名
さよならパーティー		42 名	54 名	96 名
合 計		441 名	389 名	830 名

(来賓・特別講師を除く)

第 19 回東京八王子プロバスケットボール生涯学習サロン参加者数

	期 日	一般参加者	P C 会 員	合 計
開講式・特別講話	平成26年 2月26日 (木)	57 名	50 名	107 名
サ ロ ン 第 1 週	〃 3月12日 (木)	64 名	55 名	119 名
サ ロ ン 第 2 週	〃 3月26日 (木)	49 名	57 名	106 名
サ ロ ン 第 3 週	〃 4月 9 日 (木)	42 名	56 名	98 名
野 外 サ ロ ン	〃 4月23日 (木)	43 名	33 名	76 名
閉講式・特別講話	〃 5月14日 (木)	55 名	56 名	111 名
さよならパーティー		37 名	56 名	93 名
合 計		延 347 名	延 363 名	710 名

(来賓・特別講師を除く)

[生涯学習サロンにて]



絵手紙の基本のおさらい



開講式



受講される皆さんで賑わう受付の一コマ



開講日の特別講話で日本政治の昨日・今日・明日について受講する



わが国の国際貢献についてJICAでの経験に基づく講話を聞く



暮らしを豊かにする宇宙テクノロジーについてOHPを使って説明する



野外サロンの参加者全員集合（翌年世界遺産に登録の富岡製糸場の構内にて）

② 八王子「宇宙の学校」の設立と発展

[設立と発展]

東京八王子プロバスクラブはその存在意義の一つとして、会員相互のこれまで蓄積してきた知識、経験などを地域社会のお役に立てるような活動に生かせるよう広く考えてきたところであり、すでにいちよう祭りや健康フェスタなど地域との交流に務めているほか、地域奉仕の一環として、「生涯学習サロン」は、すでに19回を数え、多くの参加者から、高い評価を得ているところである。

こういったなかで、平成22年度には生涯学習サロンに加えて、全く別の方向での地域奉仕を求めて、「プラスワン」の探求プロジェクトがスタートし、当クラブの15周年記念事業の一環として、平成22年秋JAXA名誉教授的川泰宜博士の講演を、翌年春の例会の講話で「KU-MA(子ども・宇宙・未来の会の学校)が目指すもの」を伺ったのち、当クラブとして理事会に諮ったうえ、「八王子宇宙の学校」を立ち上げることとし、設立準備室と専任担当を設置したことから、具体的な活動が始まった。

次いで、23年6月には、八王子「宇宙の学校」実行委員会が設立され、教育長を実行委員長として、八王子市教育委員会、東京八王子プロバスクラブ、八王子市、八王子商工会議所、大学コンソーシアム、八王子テレメディアおよび学識経験者をもって構成することとし、運営本部長をプロバスクラブの責任者とし、事務局を八王子市子ども科学館内に置くこととなった。同時に、八王子「宇宙の学校」後援会も立ち上げられた。(これについては別項参照)

プロバスクラブ内においては、専任担当で運営本部に携わるボランティア(大学生他)募集、諸道具の準備、KU-MAとの調整等々多岐にわたる準備の後、開校に至った。合わせて、プロバスクラブでは、八王子「宇宙の学校」支援の会を組織し、金銭的支援、人的支援をすすめることとし、多くの会員の支援を得られた。ジェネラルスタッフ(G.S)、テクニカルスタッフ(T.S)として開校の準備、当日の設営、参加者への技術指導等を受け持った。T.Sは毎回事前にKU-MA派遣の講師から研修を受けている。

「宇宙の学校」の開催に当たっては、開校から閉校するまで各家庭で学習の教材を試み、その間4回のスクーリングで、集まって実験、工作を行う。教材は、KU-MA、JAXA宇宙教育センターの開発したものをを用いる。学習の対象は小学校1、2年生とその保護者とした。

具体的な運営の状況については、八王子「宇宙の学校」後援会が年度レポートを発行して公表している。

平成23年度以降の開校状況については次のとおりである。

- ・平成23年度 期間 : 10月30日～平成24年1月13日
会場 : 開校式 サイエンスドーム八王子
スクーリング 八王子教育センター
参加者 : 受入総数80組、延べスクーリング参加者数297組
- ・平成24年度 東京都立八王子桑志高等学校会場がスタートし、2会場に増え、募集定員も増加。

期間（延べ）：10月7日～平成25年1月27日

会場：都立八王子桑志高校、八王子教育センター

参加者：受入総数129組、延べスクーリング参加者386組

- ・平成25年度 高校の会場が東京都立八王子北高等学校に変更。また小学校の第1学期に開校をスタートすることとした。夏季休暇前の開校が望ましいからである。なお台風のためスクーリングが1回欠。

期間（延べ）：7月13日～11月16日

会場：都立八王子北高校、八王子教育センター

参加者：受入総数116組、延べスクーリング参加者329組

- ・平成26年度 東京工科大学会場がスタートし、飛躍的に応募が増加(やむなく抽選)。募集定員を増やしたので、3年生を対象に。

期間（延べ）：7月6日～11月30日

会場：東京工科大、都立八王子北高校、八王子教育センター

参加者：受入総数205組、延べスクーリング参加者661組

- ・平成27年度 東京工科大学会場80組、都立八王子北高校会場30組、八王子教育センター会場60組ですすめる。

期間（延べ）：6月28日～11月8日の予定



上段スクーリング、下段家庭学習の成果の例

[八王子「宇宙の学校」の後援会活動]

宇宙の学校の意義

日本の宇宙工学の泰斗、的川泰宣博士が2005年にJAXAの組織内に宇宙教育センターを先導して設立し、関連で2008年にはNPO法人KU-MA「子ども・宇宙・未来の会」を設立して会長に就任し「宇宙の学校」事業が確立されました。翌2009年には国分寺市をはじめとして全国で13の地域で「宇宙の学校」が開催されました。

創始者の川先生の談話で曰く、「宇宙の学校」は家庭に焦点を合わせています。スクーリングでは実験や工作を親子が並んで一緒に行うきっかけづくりをやって、帰りにテキストを渡し、家庭に帰っても一緒に学ぶ習慣を持つようになって欲しいと思っています。また、そのことによって家庭と学校の分断が改善されて、家庭が学校を支えるという循環が出来ていくという思いがあります。

上記の意図から、年数回のスクーリングは、親子が家庭で学びを展開するための実習の場として位置づけられています。

後援会の立ち上がり

ひと時代前には、二世帯、時には三世帯同居の家庭もあり、3人4人と複数の子どもがいるのがごく普通の家庭の風景でした。そして、その中でこそ親・子・孫関係の知恵が生まれて復元的な家庭教育が存在していたと言えます。しかし今時を経て、極端な少子化と核家族が主流の時代となり、特に都会での子育て環境では若い親たちの不安を駆りたてる要素が満ち満ちています。そこで、そうした社会情勢の中から出てきた思想が、官民を挙げて<子供は社会の財産として地域ぐるみで育てる>という考え方の実践活動です。

八王子「宇宙の学校」後援会はこうしたコンセプトに沿って立ち上げられました。プロバスクラブはNPOではありませんが、知識と経験の豊かさを誇りにしている人たちの集まりでもあり、未来志向の教育支援活動は如何にも似つかわしいテーマと捉えています。

八王子宇宙の学校後援活動の成果

八王子市教育委員会は、平成27年3月23日、JAXA(独立行政法人宇宙航空研究開発機構)と宇宙に関する教育の充実に向けた協定を締結しました。これは、4年間の官民協働事業の八王子「宇宙の学校」活動が評価されたことでもあり、全国市の中でも国分寺市に次いで全国で2番目の快挙です。今後、宇宙をテーマにした教育活動について、JAXAが、①学校教育、②社会教育、③教職員の研修等々で支援する内容となっています。

翌28年には、八王子市こども科学館は改装され、宇宙色の強い展示館に模様替えされる予定です。地道なプロバスクラブのボランティア活動が地域教育の新たな方向性を導いたことはご同慶に堪えないところです。

市内にも多くの法人や団体が所在しますが、近年その在り方として、企業メセナ(社会貢献)やCSR(企業の社会的責任)が声高に叫ばれ、時代は確実に動いています。今日まで「宇宙の学校」を継続してご支援くださっている特別協賛企業のスリーボンドさんを初め維持会員企業の皆さんに改めて感謝を申し上げ、併せてまた個人の立場から後援会に参加して下さっている方々にも深く敬意と感謝を申し上げる次第です。

因みに、旧聞ながら2011年の総務省「社会生活基本調査」によると、都内のボランティア

ア参加者は 65 歳以上で 59 万人余、2006 年調査の 9 万人余に対して、わずか 5 年で 6 倍以上に増えたとの報告があります。行政の手が届きにくい、或いは支えきれない大事なニッチを、民間からの寄付行為やボランティアの智慧の奉仕、身体奉仕で満たしていく、そんなボランティア社会が間違いなく膨らんできています。

(後援会：会長 杉山 友一 幹事長 澤渡 進)

③ シニアダンディーズの活動

プロゴルファー石川遼君が彗星の如く現れた頃、数名の男声クラブ員がコーラスをやりたいと言ったので作り上げたのが始まりです。ジョークで石川君のあだ名の「はにかみ王子」をもじって「はにかみおじさんコーラス」と名前をつけて 1 か月 2 回の練習を始めました。学習サロンの第 1 回目からの音楽番組に出演して下さいました畑野かん奈さんに指導と伴奏をお願いして、最初は皆さんが昔歌ったなつかしい歌などを手始めに練習をしたのですが、カラオケの帝王が多く、コブシなどが出てきて笑いながら注意をしたものでした。

「遅れても練習は休まない」をモットーにしまして熱心に練習をしました。クラブの新年会やサロンの「さよならパーティ」などにアトラクションとして未熟なコーラスを聞いて頂いたのですが、少しずつ音楽的にコーラスらしくなってきました。そこで、名前を「らしい」名前にしようと、正式に「シニア・ダンディーズ」としました。

次に「クラブ内だけでなく外部活動をしたいなあ」と、段々と欲が出て来ましたので、まず、老人施設の訪問演奏をすることとなり、ゲストに田中三佐代さんをお願いしてシルバー・ビレッジを訪問したのが 2013 年の春先でした。以来あちこちの施設訪問を行い、2014 年クリスマスにはメンバーの中で管楽器の出来る人がおり、器楽も入り賑やかに楽しい訪問演奏をいたしました。田中三佐代さんは準レギュラーのように出演をしてくださいます。最近では武長秀雄さんのフルートも参加いたします。



施設訪問以外の地域社会へのデビューは、2013 年 11 月の八王子市議会議場コンサートに出演、大変緊張しましたが大成功でした。次はホールデビューです。2014 年 10 月いちょうホール小ホールでの「市民防犯の集い」にお招きを受けて晴れの舞台でした。2015 年は 5 月「八王子市中核市お祝い」のパーティに 400 人のお客様の前でコーラスをご披露いたしました。最近では毎週の練習に畑野さんの楽しく厳しい指導を受け、より高い音楽性をめざし、地域奉仕活動に向けて、また八王子プロバスクラブの広告塔の一翼を担うミッションとして頑張っております。(代表：立川 富美代)

4. 地域および全国プロバスケットボールとの交流・協調

①「八王子いちよう祭り」への協力

「八王子いちよう祭り」は、昭和54年(1979)、わがクラブの大野聖二会員の提唱によって始められた、市民参加による市民手作りのお祭りである。

毎年11月、いちよう並木の黄葉鮮やかな甲州街道と、周辺の陵南公園、陵南会館、浅川河畔などを舞台に、追分～小仏関所跡の「関所巡り」やクラシックカー・パレードなどをはじめ数々のイベント、各地物産展などを展開し、30万人を越す人出で賑わっている。

第1回は昭和54年(1979)11月10日～11日に開催され、平成26年(2014)11月15～16日には第35回記念のいちよう祭りを迎えた。

我がクラブは創立3年後の平成10年(1898)から、関所巡りの「通行手形」頒布に協力しているほか、毎年延べ20名を越す会員を派遣して積極的に支援してきている。

なお、大野聖二会員は、平成20年9月まで祭典委員会会長として長年いちよう祭りの発展に尽力した後、特別顧問として後進の指導に当たっている。

また祭典委員会の役員、或いは参加団体の責任者として、多数の会員がいちよう祭りの運営に貢献してきている。ちなみに直近の第35回記念いちよう祭りでの協力概要は次のとおりである。

陵南公園本部において催し物会場の案内業務をはじめとし、2日間にわたり、交代で本部業務に参加したほか、池田会員による絵手紙教室の開催や下田会員による大道芸を披露し、数多くの参加者を得た。

また、人権・青少年団体役員として廣瀬会員、レクリエーション協会関係の塩澤会員、青少年育成団体の立川会員など、各会員のボランティアによる参加は大会運営を支える大きな力となっている。

第30回(2009) 「希望の唄 未来の扉」

第31回(2010) 「 みつけよう、幸せの黄色いイチョウを」

第32回(2011) 「大正百年記念」「東日本大震災復興支援」「届けよう元気を！
八王子の地から(力)」

第33回(2012) 「33rd みらいみつめて発信！八王子の地から(力)」
「三國(みくに)の結び」

第34回(2013) 「夢と歴史とロマン街道」「八王子八百年」
「東日本震災復興応援」

第35回(2014) 「いちよう祭り世界発信！「世界の人と国際交流」
「東日本震災復興支援」

② 「八王子市民健康フェスタ」への参加

「健康フェスタ」は、毎年5月の第3日曜日に、富士森陸上競技場と市民体育館で開催され、八王子プロバスクラブは、「受付と案内」に人員を派遣し、協力している。

この催しは「八王子健康づくり推進協議会」により運営されているが、この協議会は平成15年11月に設立され42団体と2名の市民委員により構成されており、当クラブも参加している。

市長が会長、事務局は八王子保健所、健康政策課、健康づくり担当。当日には、障害者の「福祉祭り」と「ヘルシーウォーキング」が同時開催され、多くの市民が参加し健康づくりのきっかけ作りとなっている。

平成27年度については、市民体育館の改修工事等があり新体育館（エスフォルタアリーナ八王子）に会場を変更して開催された。

③ 全日本プロバスクラブ協議会・そのメンバーとの協調

東京八王子プロバスクラブは、平成7年（1995年）10月18日に設立され、今年、めでたく創立20周年を迎えたが、わが国では20番目、東京では2番目のクラブであり、その間、全日本プロバス協議会の構成員として、副会長職を担務し、全国大会の開催などの重要行事に参画するとともに、関東ブロックの活動や他クラブとの交流に、積極的に努力を重ねてきた。とりわけ、隣接クラブである多摩プロバスクラブおよび日野プロバスクラブとの交流については、相互のクラブ活動に参画するなど幅広く親睦に努めているところである。

[全国プロバスクラブ平成22年7月以降5年間の主な活動]

(平成22年7月～)

- 9月 第4回全日本プロバス協議会総会 於旭川 ホストクラブ 旭川 PC
- 10月 東京日野プロバスクラブ設立
- 10月 第4回神奈川県プロバス連絡協議会 ホストクラブ 川崎西 PC
- 10月 東京八王子プロバスクラブ 創立15周年
- 10月 三重県伊勢はまゆうプロバスクラブ 10周年
- 10月 新潟県新潟プロバスクラブ 15周年
- 10月 第19回兵庫県プロバス交流会 ホストクラブ 明石西 PC
- 12月 全日本プロバス協議会岩崎副会長死去

(平成 23 年)

- 1 月 京都市プロバスクラブ京都創立 10 周年
- 4 月 横濱プロバス倶楽部創立 10 周年
- 6 月 埼玉浮き城プロバスクラブ設立
- 9 月 大阪プロバスクラブ創立 10 周年

(平成 24 年)

- 4 月 全国プロバスクラブ理事会 於 京都
- 10 月 兵庫県プロバスクラブ交流会 ホストクラブ 西宮 PC
- 11 月 第 5 回全日本プロバス協議会総会 ホストクラブ 神戸北 PC 於神戸市
会長 加藤武 幹事長 森山功 副会長 立川富美代 野村浩司
- 11 月 北九州代表者会議を「北九州プロバス協議会」とした

(平成 25 年)

- 1 月 兵庫県相生プロバスクラブ設立
- 2 月 第 2 回関東中央ブロック交流会 ホストクラブ 東京多摩 PC
- 2 月 関東ブロック 第 1 回会長・幹事会 於 横濱
- 6 月 第 6 回近畿ブロック交流会 ホストクラブ 神戸北 PC 於神戸市
- 6 月 横濱グリーンプロバスクラブ設立
- 9 月 全国プロバスクラブ理事会 於 横濱
- 10 月 全国プロバスクラブ幹事会 於 横濱
- 11 月 加藤武会長死去、葬儀
- 12 月 全国常任理事会 於 横濱 これより会長代行を立川が行う

(平成 26 年)

- 1 月 全国プロバス通信発行
- 2 月 全国理事会 於八王子
- 3 月 奈良県奈良プロバスクラブ設立 (全国 111 クラブとなる)
- 4 月 全国幹事会 於横濱
- 5 月 神奈川県プロバス交流会 ホストクラブ鎌倉 PC 於鎌倉
- 5 月 東京多摩プロバスクラブ 創立 10 周年
- 9 月 全国常任理事会・幹事会 於横濱
- 11 月 北九州プロバスクラブ 創立 10 周年 於北九州市
- 11 月 第 6 回全日本プロバス協議会総会 於横濱 ホストクラブ横濱 PC

(平成 27 年)

- 2 月 常任理事会 於 横濱
- 6 月 近畿ブロック交流会 於奈良 ホストクラブ 奈良 PC
- 6 月 旭川プロバスクラブ 創立 10 周年 於旭川
- 10 月 東京八王子プロバスクラブ 創立 20 周年 於八王子

(平成26年～27年度役員名簿)

会 長 中村 實^{みつぐ}
副 会 長 立川富美代(八王子)、野村浩司(大阪)、古賀靖子(北九州)
幹 事 長 森山功(横濱)
副幹事長 小磯智功(横濱)
会計監査 中村昭夫(多摩)、武智昭(鎌倉)
理 事 山内和夫(旭川)、島村吉久三(五所川原)、後藤一郎(日野)
渡辺栄一(埼玉浮き城)、青木伊平(横濱)、金子隆弘(新潟)
山瀬晋吾(松任)、嶋博司(松坂・鈴鹿)、永勝龍子(尼崎)
今西良雄(徳山)、古賀靖子(北部九州)、迫田修(南部九州)
幹 事 浅川文夫(八王子)、宮川清彦(横濱)、松下尚雄(横濱)、須藤照夫(横浜)

[隣接プロバスクラブとの交流]

隣接している東京八王子、多摩、日野の3プロバスクラブとの間で、一層の親睦、交流を深めるため、適時、「3クラブ交流連絡会議」を開催し、クラブ運営に役立つ事項について協議を重ねている。会議の概要は以下のとおりである。

2012年7月4日(多摩会場)

- ・出席者：3プロバスクラブの会長、幹事、交流担当者の3人
- ・各クラブの概要の説明
- ・3クラブの交流をいかに深めるかを検討。
- ・今後は幹事、交流担当者の2名計6名で、月1回連絡会議を行なうことにする。

2012年8月28日、9月25日、10月24日(以上多摩会場)

- ・卓話・講演者への報酬はなしとし、交通費も自前とする。
- ・例会、その他の行事にも、積極的に出席しよう。
- ・同好会の交流を活発に行なう。
- ・ゴルフ同好会幹事は各クラブ1年ごとの当番制とする。
- ・囲碁同好会：八王子会場にて毎月2回行っているので、自由に参加することとし、その他の同好会も交流を一層深めていく。

2013年7月29日(八王子会場)

- ・連絡会議も順調に進んだので、今後は、メール等の連絡で十分と目されるため、定期的会議は取りやめることにする。
- ・各クラブのニュース、プロバスだよりの交換も、ホームページなどが広がってきたので、印刷物の交換は取り止めることとするが、ホームページがまだ順調に進捗していない状況もみられるので、当分の間、印刷物の交換を継続することとする。

【全日本プロバスケットボールの一覧表】



平成27年3月15日現在

会員数	加盟	道府県	クラブ名	郵便あて先
100	◎	北海道	旭川	旭川市6条通8丁目37-6 遠野ビル8階 (株)アイケム気付
21	◎		はまなす	札幌市中央区大通東1-2 北海道電力(株)札幌支店気付
30	◎		千歳	千歳市錦町4丁目9 リアン平安閣気付会長 朝倉範夫様
9	◎	青森	六ヶ所	青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸字家ノ前4-34 会長 金澤光秀様
26	◎		五所川原	五所川原市布屋町25 ホテルサンルート気付 寺田明代様
22	◎	群馬	前橋	前橋市日吉町3-33-14 事務局長 相澤慎司様
45	◎		わたらせ	桐生市広沢町3-4311-13 会長 金井吉雄様
24	◎		太田西	太田市高林西町382-64 会長 杉浦洋美様
12	◎		群馬おうら	群馬県邑楽郡邑楽町新中野75-2 幹事長 小倉孝夫様
29	◎		沼田	沼田市栄町122-3 会長 下田順三様
			高崎	高崎市上大類町910-4 高崎グランドパティオ4階
10	◎	埼玉	本庄	埼玉県児玉郡神川町渡瀬772-1 会長 浅田 進様
32	◎		埼玉浮き城	埼玉県行田市埼玉1353 会長 小山 博様
16	◎	千葉	四街道	千葉県四街道市旭ヶ丘1-14-16 会長 丸井定郎様
71	◎	東京都	東京八王子	八王子市追分町10-15 東京八王子プロバスケットボール様
36	◎		東京多摩	多摩市鶴牧5-29-10 平田哲郎様
24	◎		東京品川	品川区戸越6-19-14-701 幹事 川内 勝様
35	◎		東京日野	日野市西平山5-6-11 副会長 澤田研二様
			東京日本橋	中央区日本橋室町3-2-9 駒井ビル9階 東京日本橋RC気付
39	◎	神奈川	横濱	横浜市港南区日限山1-35-8 事務局長 小磯智功様
31	◎		川崎西	川崎市高津区溝口3-7-7 桐栄ビル2階 幹事 竹仲密明様
28	◎		鎌倉	鎌倉市七里ガ浜東5-8-2 八塚まち子様
			神奈川・横須賀	神奈川県三浦郡葉山町一色526-26 会長 鈴木高雄様
			横浜港南台	横浜市港南区港南台3-3-1 港南台214ビル408 タウン新聞社気付
32	◎	新潟	新潟	新潟市中央区長嶺町3-18 会長 金子隆弘様
22			柏崎	柏崎市東本町1-2-16 モーリエン内 柏崎RC気付
15	◎		上越	上越市北城町4-17-17 幹事 金津光雄様
			中条	胎内市野中20 会長 野沢 生様
31	◎	石川	プロバス松任	石川県白山市倉光8丁目40 会長 山瀬晋吾様
40		岐阜	大垣	大垣市旭町6-3 大垣商工会議所内 大垣西RC気付
32	◎	三重	鈴鹿西	鈴鹿市飯野寺家町816 鈴鹿商工会議所3階 鈴鹿RC気付
34	◎		四日市南	四日市市諏訪栄町7-28 四日市シティホテル5階 四日市南RC気付
30	◎		松阪・鈴	松阪市若葉町161-2 松阪商工会議所3階 松阪東RC気付
20	◎		はまゆう	伊勢市大世古2-9-11 伊勢国際ホテル1階 伊勢中央RC気付

17	◎	三重	九華(くわな)	桑名市中央町3-23 桑名シティホテル4階 桑名北RC気付
69	◎	京都	プロバス京都	京都市西京区山田弦馳町42-5 幹事 槇野泰雄様
43	◎	大阪	大阪	箕面市外院3-25-11 幹事 吉田州伸様
19	◎		堺	堺市東区野尻町48-409 木久経営会計事務所御中
11	◎		松原	松原市天美南4-3-2 会長 佐々木勝幸様
29	◎	奈良	奈良	奈良市右京4-1-13 日本ピー・エム・アイ(株)気付
25	◎	和歌山	日置川・清流会	和歌山県西牟婁郡白浜町日置154 会長 森田義利様
15	◎		龍神	田辺市龍神村東351 会長 古久保克巳様
13	◎		本宮	田辺市本宮町本宮449 会長 辻坂 貢様
28	◎	兵庫	尼崎・琴壽会	西宮市熊野町9-21-710 会長 永勝龍子様
15	◎		神戸北	神戸市北区筑紫が丘1-1-3 幹事 弾 昌子様
7	◎		加西	加西市北条町栗田11-15 加西商工会議所内 北条RC気付
17	◎		姫路	姫路市御立中3丁目8-27 幹事 松本一之様
31	◎		姫路南・二水会	姫路市駅前町337 広瀬ビル3階
17	◎		上郡・清流会	兵庫県赤穂郡上郡町大持278 上郡町商工会館気付
32	◎		赤穂	赤穂市加里屋68-9 赤穂商工会館気付
10	◎		宝塚中	宝塚市南口2丁目14-5-310 南口会館内
20	◎		淡路	洲本市本町5-4-25 第二大富ビル203 洲本RC気付
3			三田	西宮市北六甲台1丁目2-8 幹事 浦島義信様
26			伊丹	伊丹市宮ノ前2-2-2 伊丹商工会議所気付
22			篠山	篠山市二階町58-2 篠山商工会 篠山RC気付
28			豊岡	豊岡市立野町19-1 萬長ビル 豊岡RC気付
27			小野加東	小野市王子町800-1 小野商工会館気付
11			高砂	高砂市高砂町北本町1104 高砂商工会議所気付
23			西脇	西脇市西脇990 西脇商工会議所気付
32			垂水	神戸市垂水区北舞子1-2-45 幹事 花播 博様
16			明石	明石市太寺4丁目4-11 幹事 大濱慎吾様
10			明石西	神戸市垂水区東舞子町18-11 舞子ビラ632 明石西RC
18			西宮	西宮市柏堂町1-8-503 竹下宗一様
23			加古川	加古川市平岡町新在家 幹事 佐野駿介様
27			神戸東	芦屋市松ノ内町10-2 藤原 儀直様
20			柏原(かいばら)	兵庫県丹波市氷上町新郷1663-3 幹事 進藤凱紀様
18		相生(あいおい)	相生市旭3-1-23 相生商工会議所気付	
21	◎	広島	福山	福山市三之丸町8-16 福山ニューキャッスルホテル福山南RC気付
5			広島	広島市南区翠3-17-3 会長 今田博久様
26	◎	山口	徳山	下松市南花岡2-6-13 石津嶺祐税理士事務所 会長 石津嶺祐様

54	◎	福岡	北九州	北九州市小倉北区霧ヶ丘3-1-10-1003 事務局 遠藤信子様
48	◎		福岡城東	糸島市二丈福井2456-1-801 会長 福田勝朗様
25	◎		田川	田川郡糸田町31番地 会長 山本悌次郎様
21	◎		みやこ	京都郡豊津町豊津260 会長 榊 利文様
20			小郡	小郡市八坂231 会長 佐々木 勉様
19	◎	長崎	壱岐	壱岐市郷ノ浦町初山東触82-1 幹事 長嶋鏡文様
39	◎	宮崎	えびの(穂波会)	えびの市小田794-1 会長 佐藤清生様
10			宮崎	宮崎市下北方町野田587-52 会長 別当嘉昭様
13			小林	小林市堤2092 会長 田原郁郎様
23			桜川	西都市大字三宅4146 会長 長友勝郎様
			フェニックス	宮崎市宮田町10-25 宮田町ビル 宮崎北RC気付
11			日南	日南市大字宮浦580 会長 長友好一様
19			日向	日向市大字財光寺6527-46 会長 太田演三様
19			都城中央	都城市都島町403-1 幹事 佐野正紀様
10			延岡中央	延岡市昭和町3-45 会長 池田茂美様
			都城西	都城市下長坂町416-36 会長 小林昇二様
			都城霧島	都城市上東町6-2 幹事 平山登啓様
16	◎		鹿児島	鹿児島南
13	◎	指宿(いぶすき)		指宿市十二町2272-3 会長 向吉 保様
16	◎	阿久根(あくね)		阿久根市脇本1339 会長 今田トシ子様
15	◎	出水(いずみ)		出水市向江町2-38 会長 山岡藤男様
19	◎	高山吾平		鹿児島県肝属郡肝付町後田2784 会長 福留幸四郎様
16	◎	穎娃(えい)		南九州市穎娃町郡10204-6 会長 山下正行様
14	◎	鹿児島		鹿児島市田上台1-21-1 (財)新生田上霊園気付 幹事 桜井孝夫様
12		鹿児島西南		鹿児島市坂之上7-15-22 会長 山中利雄様
16		鹿児島西		鹿児島市桜ヶ丘8-18-2 事務局 吉武和臣様
13		志布志(しぶし)		志布志市志布志町安楽1135 会長 本村輝正
8		鹿屋(かのや)		鹿屋市西原3-9-2 会長 藤崎幸男様
10		伊集院 (いじゅういん)		日置市伊集院町郡1915-3 会長 中島貞雄様
		くしら(串良)		鹿屋市串良町有里3198 会長 村場信善様
8		大崎		鹿児島県曾於郡大崎町井俣1352 事務局 新越 満様
5		鹿児島北		鹿児島市南栄5-10-2 成和ビル701 会長 中村敏行様
14		かのや東		鹿屋市寿8丁目14-11 会長 河原彰一様